

取扱説明書
冷蔵庫

JP

MANUALE D'USO
FRIGORIFERO

IT

INSTRUCTION MANUAL
REFRIGERATOR

EN

MANUEL D'UTILISATION
RÉFRIGÉRATEUR

FR

GEBRAUCHSANWEISUNG
KÜHLSCHRANK

DE



日本語

この度はイタリア SMEG 社製 レトロシリーズ 冷蔵庫 FAB28 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。読み終わったあとは大切に保管してください。

ITALIANO

Gentile Cliente, desideriamo ringraziarLa per la fiducia accordataci.

Scegliendo un nostro prodotto, Lei ha optato per soluzioni in cui la ricerca estetica, abbinata ad una progettazione tecnica innovativa, offre oggetti unici che diventano elementi d'arredo.

Augurandole di apprezzare appieno le funzionalità del Suo elettrodomestico, Le porgiamo i nostri più cordiali saluti.

ENGLISH

Dear customer, we would like to thank you for your confidence in us.

By choosing one of our products, you have opted for solutions where research for beauty meets innovative technical design to provide unique objects which become pieces of furniture.

We hope you get the most out of your household appliance.

Kindest regards.

FRANÇAIS

Cher Client, nous souhaitons vous remercier pour la confiance que vous nous accordez.

En choisissant l'un de nos produits, vous avez opté pour des solutions dont la recherche esthétique, associée à une conception technique innovante, offre des objets uniques qui deviennent des éléments de décoration. Tout en vous souhaitant d'apprécier pleinement les fonctions de votre appareil électroménager, nous vous présentons nos salutations les plus cordiales.

DEUTSCH

Sehr geehrter Kunde, wir danken Ihnen für Ihr Vertrauen.

Mit der Wahl eines unserer Produkte haben Sie sich für Lösungen entschieden, deren Ästhetik und innovativer technischer Entwurf Einrichtungsgegenstände von besonderem Design schaffen.

In der Hoffnung, dass Sie die Funktionen Ihres Haushaltsgerätes voll und ganz genießen und schätzen werden, verbleiben wir mit freundlichen Grüßen.

目次

JP

1 注意事項	4
1.1 はじめに	4
1.2 取扱説明書に関する注意	4
1.3 取扱に関する注意	4
1.4 安全に関する注意	5
1.5 メーカー責任	7
1.6 製品ラベルに関する注意	7
1.7 廃棄に関する注意	8
2 本製品について	9
2.1 各部名称	9
2.2 各部について	9
2.3 付属部品	10
3 ご使用について	12
3.1 注意事項	12
3.2 本製品をお使いになる準備	12
3.3 初めてお使いになる前に	12
3.4 付属部品の使い方	12
3.5 庫内循環システム	14
3.6 冷蔵室の使い方	15
3.7 冷凍室の使い方	15
3.8 動作音について	16
3.9 冷蔵庫の扉付近の温度について	17
3.10 冷蔵庫の電源を切る	17
3.11 上手な食品保存	17
4 お手入れについて	19
4.1 注意事項	19
4.2 冷蔵庫のお手入れについて	19
4.3 霜取りについて	20
4.4 庫内灯について	20
4.5 こんな時はどうする？	20
5 設置について	22
5.1 電源への接続	22
5.2 設置について	22

本取扱説明書には、本製品を安全にお使いいただくための情報と廃棄に関する情報が記載されています。ご使用前に必ずよくお読みください。

製品についてのさらに詳しい情報は、www.smeg.jp をご覧ください。



注意事項

1 注意事項

1.1 はじめに

本製品をご使用になる際の重要な情報は以下のように分類されています。

注意事項



本製品を安全にお使いいただくための情報と廃棄に関する情報が記載されています。



本製品について

本製品に関する説明が記載されています。



ご使用について

本製品の使い方に関する情報が記載されています。



お手入れについて

本製品のお手入れに関する情報が記載されています。



設置について

専門業者による設置、操作、点検に関する情報が記載されています。



情報



安全に関する注意事項



ヒント

1.2 取扱説明書に関する注意

本取扱説明書は本製品の一部分です。本製品を廃棄するまで、大切に保管してください。

1.3 取扱に関する注意

- 本取扱説明書に記載されている「注意事項」は必ずお守りください。
- 本製品は必ず屋内で使用してください。
- 本製品は業務用および商業用としては設計されておりません。
- 本製品は、個人もしくはご家庭で使用することを目的に設計されています。本来の目的以外のご使用はお控えください。本製品は以下の環境でもご使用いただけます。
 - ▶ 会社や事務所、店舗などの従業員用として
 - ▶ 農場や農場の宿泊施設内
 - ▶ 旅館やホテル、ペンション、民宿などの客室
 - ▶ ケータリングや類似の小売店以外での使用
- 本製品に、タイマーや外部リモコン操作機能はついておりません。
- 本製品でお子様遊ばないようにしてください。お子様の手の届かない場所に保管してください。

《小さなお子様及び障がいを持つ方への配慮》

- 感電、火傷等の事故防止のため、8歳未満のお子様や、身体的障がい・精神的障がい・知的障がい・発達障がい等をお持ちの方による、単独でのご使用はお控えください。お使いになる場合は、安全な使用責任を取る事ができる大人の方が必ず補助を行うようにしてください。

1.4 安全に関する注意

本製品を安全にご使用いただくため、以下の注意事項をお守りください。

怪我の恐れ / 怪我を防ぐために

ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

- 本製品の 8 歳未満のお子様単独でのご使用はお控えください。本製品のご使用は、安全な使用責任を取る事ができる大人の方が実施するようにしてください。
- 本製品でお子様がお遊ばないようにご注意ください。
- 本製品の設置作業は、必ず専門業者が行うようにしてください。
- 本製品の改造は絶対に行わないでください。
- 冷蔵庫のすき間に金属製のとがった物（ナイフやフォークなど）を入れないようにしてください。
- お客様ご自身による本製品の修理は絶対に行わないでください。故障した場合は専門技術者の修理が必要です。
- 凍った製品をそのまま（特に濡れた手で）触ったり、口に入れたりしないでください。
- 冷蔵庫内に引火性、爆発性、揮発性を持つ物質を保存しないでください。
- スプレー缶などの爆発性物質を冷蔵庫に入れないでください。
- アルコール度数の高いお酒は、蓋をしっかりと閉め、立てて保存してください。
- 電源コードが破損した場合は危険を伴う恐れがありますので、直ぐに「お客様相談窓口」にご相談ください。

機器を破損する危険

- 本製品のご使用時は冷蔵庫の上にナイフ、フォークのような金属製の鋭利なものや、スプーンや蓋などを置かないようにしてください。
- ガラス部品には、研磨剤や粉末洗剤、アルコール、シンナー、ベンジン、アルカリ性・弱アルカリ性の洗剤、たわし、研磨スポンジ等を使用しないでください。
- 冷蔵庫の上に座らないようにしてください。
- 冷蔵庫を移動する際は、ドアや取っ手をつかまさないでください。
- 本製品のお手入れに高圧スチームクリーナーを使用しないでください。
- お部屋を冷やす目的で冷蔵庫を使用しないでください。
- お手入れとメンテナンスを実施する際は、必ず冷蔵庫の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 缶やガラスびんに入った液体を冷凍室に保存しないでください。
- 冷凍室に着いた氷の除去に金属製の鋭利な刃物を使用しないでください。
- 本取扱説明書の指示に従い、冷蔵庫が安定するように設置してください。
- 冷蔵庫の上に重いものを載せないでください。
- 本製品を他の冷蔵庫または冷凍庫の近くに設置する場合は、少なくとも 2cm の距離をあけてください。
- 本製品を屋外に設置、または使用しないでください。



注意事項

[警告]

- 冷蔵庫の配置を決める際には、電源コードが引っかかったり、傷つくことのないようにしてください。

[警告]

- 本製品の後ろに電源タップや電源装置を置かないでください。
- 変換プラグを使用しないでください。

本製品について

- 本製品でお子様がお遊ばないようにご注意ください。
- 開いたドアに荷重をかけたり、座ることはお控えください。
- 冷蔵庫のドアに物を挟まないようにしてください。
- 冷蔵庫の冷媒には少量のイソブタン(R600a)が使用されています。輸送、設置、お手入れの際には冷却回路を傷つけることのないようにしてください。
- 冷蔵庫の周囲は通気のためのすき間を設け、側に障害物を置かないようにしてください。
- 霜取りのために、いかなる電化製品（ヘアドライヤー等）や化学製品（霜取りスプレー等）を使用しないでください。
- 冷却回路を傷つけないでください。万が一冷却回路が傷ついてしまった場合、周囲での火気や電化製品の使用を避け、室内の換気を十分に行ってください。
- 冷蔵室及び冷凍室内ではいかなる電化製品も使用しないでください。
- 取扱説明書に記載されている以外の方法で、本製品を使用しないでください。



[警告]

- 火災または引火性物質の危険について



[警告]

- 冷蔵庫のドアを長時間開けたままにしないでください。
- 冷蔵庫内の食品が触れる場所はこまめに掃除し、排水装置を遮るものがないようにしてください。
- 生肉や生魚は適切な容器に入れて冷蔵室に保存し、他の食品に触れたり、雫が落ちることのないようにしてください。
- 冷蔵庫を長期間使用しない場合、カビの発生を予防するため、電源を切り庫内を清掃し乾燥させた上でドアを開けたまま保管してください。

1.5 メーカー責任

メーカーでは以下に起因する損害について、一切の責任を負いません。

- 本製品の本来の目的とは異なる使用
- 取扱説明書を読んでいない
- 本製品の改造
- 非純正部品の使用
- 安全に関する注意事項の不遵守

1.6 製品ラベルに関する注意

製品ラベルには「製品型番」「電氣的仕様」「気候クラス」「シリアル番号」「PSE マーク」「販売元会社名」が記載されています。絶対に剥がさないでください。



注意事項

1.7 廃棄に関する注意



本製品を廃棄される場合は、お住まいになられている自治体等のルールに従って適切に処分してください。

- 本製品は、現行の欧州指令の適用により、健康や環境に影響を及ぼす恐れがある量の有害物質は含んでおりません。
- 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合には、収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店やお住いの自治体へ適正に引き渡すことが求められています。お買い換えの際は、販売店にご相談ください。
- 冷蔵庫を交換する場合は、お子様が中に閉じ込められるのを防ぐために、ドアを外し、仕切り棚をそのままにしておいてください。



感電の危険

- 廃棄の際は必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使わなくなった本製品を他の家庭ごとと一緒に廃棄しないでください。正しい廃棄を行うことで材料をリサイクルしたり、環境を保護したりすることができます。
- 本製品の梱包材には、リサイクル可能な非汚染物質を使用しています。



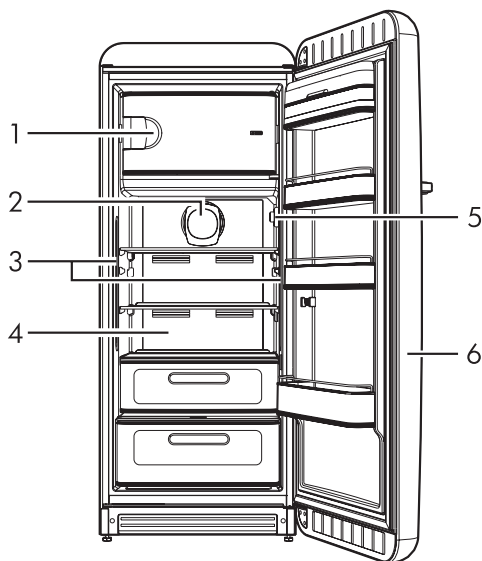
プラスチック製梱包材 窒息の危険

- 梱包材もしくはその一部を放置しないでください。
- ビニール袋でお子様が遊ばないように注意してください。



2 本製品について

2.1 各部名称



- 1 冷凍室
- 2 ファン
- 3 庫内灯
- 4 冷蔵室
- 5 サーモスタット
- 6 ドア

2.2 各部について

冷凍室

冷凍食品の保存、生鮮食品の冷凍、製氷に使用します。

ファン

温度を分散させ、仕切り棚やその他の表面の結露を減少させます。

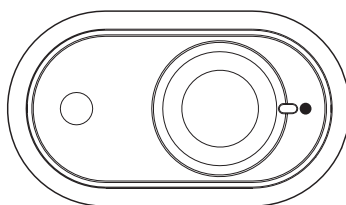
庫内灯

ドアを開けると冷蔵庫内部の照明が点灯します。

冷蔵室

生鮮食品の保存に使用します。

サーモスタット



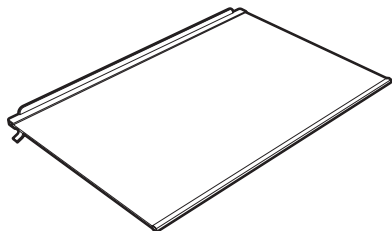
冷蔵室や冷凍庫の内部温度を設定するために使用します。



本製品について

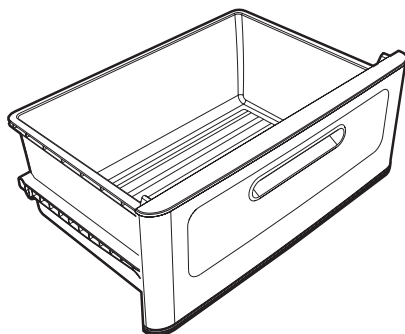
2.3 付属部品

仕切り棚



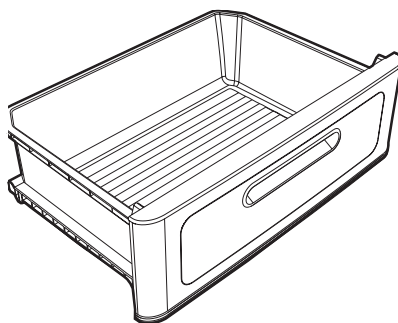
庫内を仕切り、食品を収納しやすくします。

野菜室



湿度が一定に保たれ、果物や野菜の保存に向いています。

チルドケース



チルドケースは温度が $-2 \sim +3^{\circ}\text{C}$ に保たれますので、肉、魚、微凍結した食品などのデリケートな食品の新鮮さと味を長く保つために使用することができます。

冷蔵室よりも長期の保存に向き、鮮度が落ちやすく凍らせられないものに最適です。

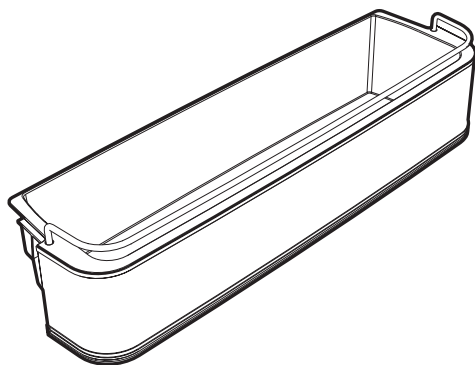


冷凍させる食品や製氷皿はチルドケースで保存しないでください。



ドアポケット

小さな容器に入った食品の保存に使用します。ドアの下部にあるポケットはボトル類を保存するのに適しています。



食品と接触する付属品は現行の法律に適合した素材で作られています。



ご使用について

3 ご使用について

3.1 注意事項



不適切な使用について
機器を破損する危険

- 氷や霜を除去する際には、冷蔵庫を傷つけないために、鋭利な物を使用しないでください。
- 開けたドアや引き出したケースに、荷重をかけたり座ることはお控えください。
- 冷蔵庫の外側の熱い部分に触れないでください。
- 冷蔵庫内に引火性、爆発性、揮発性を持つ物質を保存しないでください。
- スプレー缶などの爆発性物質を冷蔵庫に入れないでください。
- 特に酸味を含んだ飲み物やエッセンシャルオイルをパッキンや合成樹脂（プラスチック）に長時間接触したままにしないでください。表面の腐食に繋がることがあります。
- アルコール度数の高いお酒は、蓋をしっかりと閉め、立てて保存してください。

3.2 本製品をお使いになる準備

- 付属部品を含めた冷蔵庫の外部および内部にある保護フィルムを除去してください。
- 付属部品や棚のラベルはきれいに剥がしてください。冷蔵庫本体の製品ラベルは剥がさないでください。
- 冷蔵庫の付属部品のすべてを取り外して洗浄してください。（「4. お手入れについて」を参照）。

3.3 はじめてお使いになる前に



冷蔵庫を設置または移動した後は、少なくとも2時間経過してから動作させてください。

冷蔵庫の電源プラグをコンセントに差し込んでください。温度調節つまみを1-5の位置に設定することで、電源が入ります。



目盛りの数字が大きくなると、庫内の温度は低くなります。

ドアアラーム

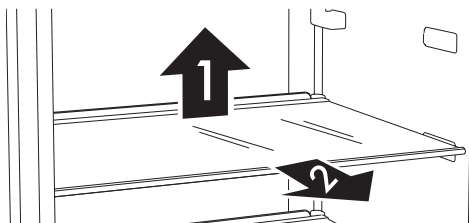
冷蔵庫のドアが一定時間開いた状態になっていると、アラーム音が鳴り、庫内灯が点滅することで異常をお知らせします。

3.4 付属品の使い方

仕切り棚

誤って棚が外れてしまわないように、棚の奥にストッパーが付いています。

棚の奥の方を持ち上げてから（1）、手前に引き出してください（2）。



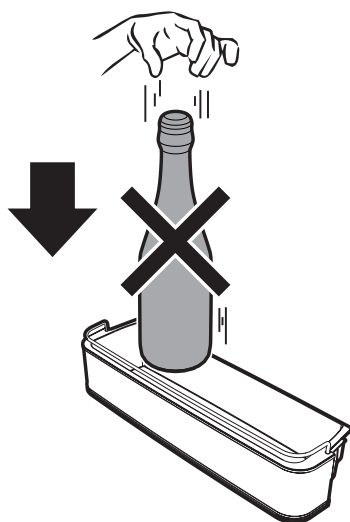


傷みやすい食品は、温度が低めになる仕切り棚の奥に置くようにしてください。

ドアポケット

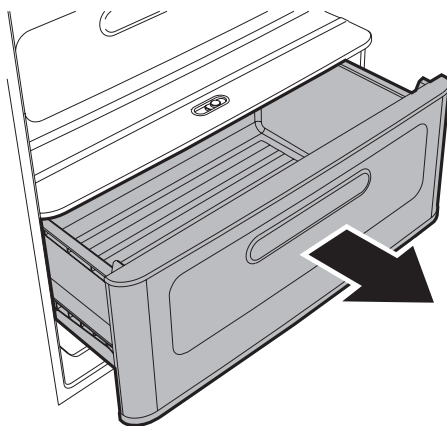
卵、バター、乳製品、瓶詰、その他の小さなパッケージや容器を貯蔵するのに適しています。下段のポケットには、ボトル類を入れられます。

過度に重いボトルをポケットに置くことは避けるとともに、ボトルを入れる時に落下させて底に重みをかけないようにしてください。



野菜室

冷蔵室の最下部には、適切な状態で生鮮食品を保存できるように、専用ガラス棚が取り付けられています。



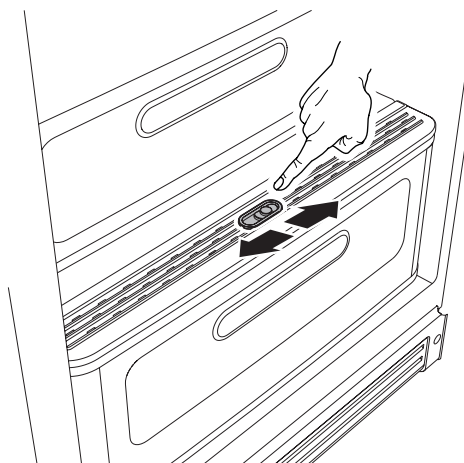
i

水分を多く含む野菜を入れると、ガラス棚に水滴が付くことがあります。これは自然現象によるものですので、冷蔵庫の機能には問題はありません。



ご使用について

湿度調整レバー



湿度調整レバーは、野菜室内部の湿度を調整するために使用します。レバーをスライドさせると、スロットが開閉し、湿度を調整できます。



水分を多く含む野菜を入れると、ガラス棚に水滴が付くことがあります。これは自然現象によるものですので、これにより冷蔵庫の正しい動作が妨げられることはありません。

3.5 庫内循環システム



食品は冷蔵室に入れる前に密封してください。

庫内を循環する空気には湿度が無く、食品が乾燥しやすくなります。



循環システムによって、食品を素早く冷やし、庫内の冷たさを均一にすることができます。



3.6 冷蔵室の使い方

食品の配置の仕方について

食品を入れる前は、ラップや蓋をして、密閉してください。これらの配慮は以下の効果があります。

- 食品の風味、みずみずしさ、新鮮さを保ちます。
- 他の食品からの臭い移りを防ぎます。
- 食品（特に、新鮮な果物や野菜）から水分が蒸発し、庫内の湿度が高くなりすぎることを防ぎます。

周囲の温度や湿度が上昇したり、ドアを何度も開け閉めすると、冷蔵庫の棚に水滴が生じることがあります。



温かい食品や飲み物は、必ず室温に冷ましてから、冷蔵室に入れてください。

3.7 冷凍室の使い方

冷凍室を正しく使うために、以下のことにご注意ください。

- 果物と野菜は、1kg 以下、肉や魚は2kg 以下に小分けして密封してください。
- 小分けにすると、早く冷凍されますので、解凍後や調理後も栄養素が損なわれにくくなります。
- 食品は密封できる容器に入れて、できるだけ中の空気を抜くようにしてください。
- 紙袋や買い物袋は使用せず、冷凍に適した袋や容器を使用してください。



温かい食品や飲み物は、必ず室温に冷ましてから、冷凍室に入れてください。

貯蔵期間の目安

食品	期間
卵、燻製肉、マリネ、チーズ	最大 10 日
根菜	最大 8 日
バター	最大 7 日
ケーキ、果物、惣菜、生鮮肉	最大 2 日
魚、ひき肉、魚介	最大 1 日



ご使用について

冷凍食品の貯蔵期間の目安

食品	期間
果物、牛肉	最大 10 ～ 12 か月
野菜、仔牛、鶏肉	最大 8 ～ 10 か月
ジビエ	最大 6 ～ 8 か月
豚肉	最大 4 ～ 6 か月
ひき肉	最大 4 か月
パン、デザート、調理済み料理、脂肪分の多い魚	最大 3 か月
臓物	最大 2 か月
ソーセージ、脂肪分の少ない魚	最大 1 か月

解凍した食品

一度解凍した食品はできるだけ早く使い切ってください。食品を冷凍することで長く安全に貯蔵できますが、微生物は死滅せず、解凍後に増殖して食品を腐敗させる恐れがあります。

栄養価を下げないためにも、特に生の果物や野菜、調理済みの食品を冷凍した場合は完全に解凍するようにしてください。

3.8 動作音について

冷蔵室と冷凍室はコンプレッサー（圧縮機）によって冷却されています。冷蔵室および冷凍室内の温度を保つために、コンプレッサーが作動し、必要な冷たさになるまで動き続けることがあります。コンプレッサーが始動すると、ブーンという音が鳴りますが、数分経つと音は弱まります。また、冷媒が配管を流れるときに、水が流れるような音が聞こえることがあります。これらの音は正常な作動によるもので、異常ではありません。あまりにも大きい音がする場合は、次のような原因が考えられます。以下のことが守られているかどうか確認してください。

- 冷蔵庫は水平に配置されており、コンプレッサーの作動時にがたがたしませんか。
→安定するよう、冷蔵庫手前下部にある脚の高さを調節してください。
- 冷蔵庫内の棚やドアポケットなどは、正しくセットされていますか。
→ガタつき、グラつきがないよう、正しくセットしてください。
- 冷蔵庫内の瓶や容器が傾いたり、2つ以上の容器が接触したりしていませんか。
→コンプレッサーの作動によって瓶や容器が接触する音が増幅することがありますので、できるだけ瓶や容器を近づけないように保管してください。
- 他の家具や電気製品と接触していませんか。
→他の家具や電気製品と接触しないよう、最低でも 2cm 以上の間隔をあけて設置してください。



3.9 冷蔵庫内扉付近（手前側）の温度について

ドアパッキン周囲の結露防止の為、冷蔵庫内手前側の温度が高くなるよう設計されています。

3.10 冷蔵庫の電源を切る

冷蔵庫を長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜き、庫内を空にしてください。冷凍室の霜取りが完了したら、残っている水分を柔らかい布で拭き取ってください。



水分と滞った空気で不快なおいが発生するのを防止するために、ドアは半開きのままにしておいてください。

3.11 上手な食品保存

上手な節電のアドバイス

- 上手に食品を保存するためには、冷蔵庫を正しく使い、食品を正しく保存し、保存温度に気を付ける必要があります。
- ドアを開ける回数と開けたままにする時間を減らすことで、冷蔵室や冷凍室の温度が過度に上がるのを防止することができます。
- 冷蔵庫を上手に節電するためにも、コンデンサ（冷蔵庫の後部）を定期的に清掃してください。
- 冷凍食品を冷蔵庫内で解凍すると、冷気を活用することができます。

一般的なアドバイス

- 食品のパッケージにある消費期限を常に確認してください。
- 食品は容器に入れ、または十分に密閉した状態で保存し、水分や臭いの発散または吸収を予防してください。
- 長期間留守にする場合は、痛みやすい製品を冷蔵庫から取り除いてください。

冷蔵庫のドアポケット

- 上段、あるいは中段には、卵、バター、チーズなどを貯蔵してください。
- 下段には、飲み物、ボトル、缶などを貯蔵してください。



ご使用について

冷蔵室

- 上段には、瓶詰・缶詰食品、ワイン、ビスケットなどを貯蔵してください。
- 中段には、乳製品、惣菜、ケーキ、フルーツジュース、ビールなどを貯蔵してください。
- 下段には、肉、ハム・サラミなどを貯蔵してください。
- 野菜室には、果物、野菜などを貯蔵してください。

冷凍室

- 容器やフリージングバックには、中身の食品と量、冷凍する日を記入してください。
- 保存する食材を十分に冷まし、できるだけ小さな容器やフリージングバックを使用してください。
- 適切な冷凍用の袋、食品用のアルミホイルやポリエチレン製ラップ、冷凍用容器を使用してください。
- 紙袋や、食品用でないセロハン、買い物袋、既に使用した冷凍用の袋は使用しないでください。
- 冷凍済みの食品と、これから冷凍する食品とは触れないようにしてください。
- 袋詰めの冷凍野菜、氷、アイスクリームなどを貯蔵してください。



4 お手入れについて

4.1 注意事項



不適切な使用について 表面を破損する危険

- 本製品のお手入れに高圧スチームを使用しないでください。
- 塩素・アンモニアが入っている洗剤や漂白剤は、次のような場所には使用しないでください。
スチール製の部品、表面処理がされた部品（アルマイト、ニッケルめっき、クロムめっきなどが施された部品）
- 本製品のガラス製部品には研磨剤もしくは腐食性洗剤、粉末洗剤、染み抜き剤、スチール製たわし等を使用しないでください。
- 表面が粗いもの、研磨性の高いもの、もしくは鋭利な金属へらを使用しないでください。



電圧 感電の危険

- お手入れをする前には、冷蔵庫の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。

4.2 冷蔵庫のお手入れについて

冷蔵庫内には、細菌の繁殖を抑えるために抗菌処理が施されています。常に衛生的な状態を保つため、定期的に庫内の清掃を行ってください。

冷蔵庫の外側のお手入れについて

- 冷蔵庫の外側は、水またはアルコール配合洗浄液（例えば窓ガラス洗浄液）を使用して汚れを落とすことができます。
- 表面を傷つける恐れがありますので、刺激性洗剤や洗浄力が強い洗剤、スポンジの固い面のご使用はお控えください。
- 冷蔵庫背面にあるコンデンサー部からホコリや細かい塵を取り除く際には、柔らかいブラシを使用してください。
- コンプレッサーの上にあるタンクを掃除してください。

冷蔵庫内のお手入れについて

- 冷蔵庫の内部は、薄めた洗剤液とぬるま湯に少量の酢を加えたもので掃除してください。
- ドアポケットは取り外すことができます。ドアポケットの差込部を片方ずつ、下から上に向かって軽くたたきます。
- 冷凍室内に付着した氷を除去します。尖った物やスプレー剤を使用しないでください。



お手入れについて

4.3 霜取りについて



冷凍室内には時々霜がつくことがあります。



樹脂部品を傷める恐れがありますので、霜取りのために、電気機器（ヘアドライヤー等）または霜取りスプレーを使用しないでください。

冷蔵庫の霜取りについて

冷蔵庫内についた霜は、コンプレッサーが休止している間に溶けるため、霜取りの必要はありません。霜取りは自動で行われます。解けた水は冷蔵庫背面の蒸発皿に誘導され、コンプレッサーの熱によって蒸発します。

冷凍室の霜取りについて

- 冷凍室は手動で霜取りを行う必要があります。霜あるいは氷の厚さが2 cmを超えた場合は、冷凍室の霜取りを行ってください。
- 霜取りを行う数時間前に、サーモスタットの設定を最大にして冷凍されている食品をさらに冷やすようにしてください。
- 冷蔵庫の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 霜取り作業中に解凍しないように、冷凍食品を冷凍室から取り出してください。
- 氷が溶けるまで待ち、続いてスポンジや吸収力のある布を使用して冷凍室から水を拭き取ってください。

4.4 庫内灯について

庫内灯が損傷した場合は「お客様相談窓口」に修理を依頼してください。

4.5 こんな時はどうする？

冷蔵庫が作動しない

- 冷蔵庫の電源プラグがコンセントに差し込まれ、メインスイッチがONになっていることを確認してください。

コンプレッサーが頻繁に始動する、または継続的に作動する

- 使用場所の室温が高すぎませんか？
- ドアが頻繁に開けられたり、長時間開いたままになっていませんか？
- ドアが正しく閉じられていますか？
- 冷凍室に大量の食品が入っていませんか？
- 冷蔵室の右側にあるセンサーの周囲で空気が十分に循環していますか？
- 冷凍室の後部が十分に換気されているか、またはコンデンサーが汚れていませんか？

冷蔵庫内に発生する霜や結露が多すぎる

- ドアが頻繁に開けられたり、長時間開いたままになっていた可能性があります。
- 冷蔵室内に熱い食品が入れられた可能性があります。
- 食品や容器が、奥の壁に触れていないか確認してください。
- ドアパッキンが傷んだり汚れたりしていないか、確認してください。掃除または交換をしてください。



冷蔵庫が十分に冷たにならない

- サーモスタットの設定が高すぎないか、確認してください。
- ドアが頻繁に開けられたり、長時間開いたままになっていた可能性があります。
- ドアが正しく閉じられているか確認してください。
- 使用場所の室温が高すぎませんか。

冷蔵庫内の温度が冷たくなりすぎて、食品が凍る

- サーモスタットの設定が低すぎないか、確認してください。
- 冷蔵に適した容器や袋をお使いください。
- 果物や野菜を濡れたまま入れていますか。
- 食品や容器が、奥の壁に触れていないか確認してください。

冷凍庫内の温度が十分に下がらず、庫内の食品がうまく凍らない

- サーモスタットの設定が高すぎないか、確認してください。
- ドアが頻繁に開けられたり、長時間開いたままになっていた可能性があります。
- ドアが正しく閉じられているか確認してください。
- ドアパッキンが傷んだり汚れたりしていないか、確認してください。掃除または交換をしてください。
- 糖分の高い食品を冷凍しようとしていませんか。

冷凍室内に発生する霜が多すぎる

- サーモスタットの設定が低すぎないか、確認してください。
- 使用場所の室温が高すぎませんか。
- ドアが頻繁に開けられたり、長時間開いたままになっていた可能性があります。ドアが正しく閉じられているか確認してください。
- ドアパッキンが傷んだり汚れたりしていないか、確認してください。掃除または交換をしてください。
- 熱い食品が、十分に冷めないうちに冷凍室に入れられた可能性があります。

ドアが閉じた直後に開けにくい

- 一度ドアを閉じてからすぐにドアを開けようとする場合（特に冷凍室のドア）、相当の力が必要です。これは、冷凍室に入った暖かい空気が冷やされて、一時的に真空状態になるためです。

ドアがまっすぐになっていない

- 冷蔵庫が水平になっているかどうかを確認してください。
- 冷蔵庫下部手前の脚は、高さが調節できるようになっていますので、水平になるように調整してください。



設置について

5 設置について

5.1 電源への接続



電圧 感電の危険

- ・ 漏電時の感電事故防止のため、必ずアース線を接続してください。
- ・ 電源コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。
- ・ アース接続端子がない場合は販売店もしくは電気工事士に連絡し、必ずD種接地工事を行ってください。

一般情報

- ・ 本製品の主要な仕様に関しては製品ラベルに記載されておりますのでご確認ください。製品の仕様、シリアル番号、ご使用上の注意などが記載された製品ラベルが、冷蔵庫内に貼られています。この製品ラベルは絶対に剥がさないでください。
- ・ 電源プラグとコンセントが同じタイプのものであることを確認してください。
- ・ アダプター、電源タップ、延長コードは使用を控えてください。加熱・発火の恐れがあります。
- ・ 冷蔵庫は電源コンセント近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。
- ・ 本製品を初めてお使いになる際には、電源を入れる前に冷蔵庫を立てたままの状態にし、少なくとも2時間置いてください。
- ・ 電源コードの交換には、専門技術者の修理が必要です。「お客様相談窓口」に修理を依頼してください。

5.2 設置について



大型の家電製品 設置上の注意

- ・ 本製品は重量がありますので、設置の際は2名以上で実施してください。



ドアへの負担 機器を傷めるリスク

- ・ 開いたドアを持って冷蔵庫を設置することはお控えください。
- ・ 開いたドアに過度の荷重をかけることはお控えください。
- ・ 直射日光のあたる場所には設置しないでください。
- ・ 熱を発生する機器の近くには設置しないでください。離して置くことが難しい場合は、断熱材などをお使いください。
- ・ 本製品を屋外で使用しないでください。

設置場所について

冷蔵庫は常に換気の良い、湿気のない場所に設置してください。本体の気候クラスによって、この冷蔵庫をお使いいただける室温の条件が異なります。気候クラスについては、冷蔵庫内の製品ラベルをご確認ください。

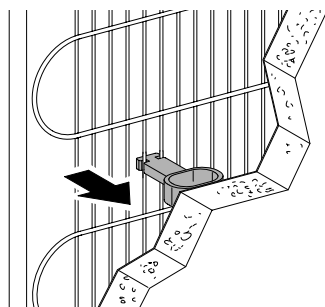
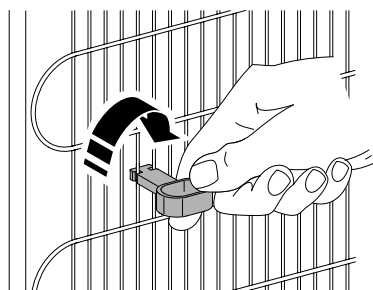
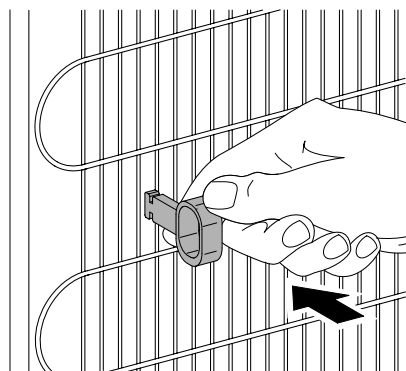
気候クラス	室温
SN（広域温帯）	+10℃～+32℃
N（温帯）	+16℃～+32℃
ST（亜熱帯）	+18℃～+38℃
T（熱帯）	+18℃～+43℃



- 電気コンロやガスコンロからは 3cm 以上離し、燃烧式の暖房器具やラジエーターからは 30cm 以上離して設置してください。
- 熱を発生する機器の近くには設置しないでください。離して置くことが難しい場合は、断熱材などをお使いください。
- 冷蔵庫を設置する場所の上部に棚がある場合は、少なくとも 5 cm 以上棚との空間をあけてください。
- 冷蔵庫は、ドアを開き、必要に応じて庫内のケースや仕切り棚を取り外すための十分なフリースペースを設けて、配置するようにしてください。

スパーサー

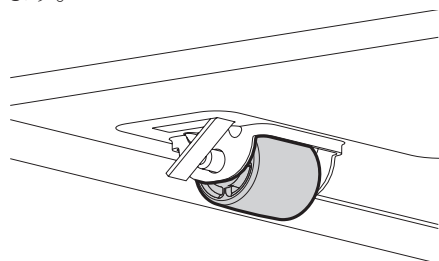
コンデンサーによって正しい冷却がおこなわれるためには、冷蔵庫を壁に接近させて設置しないでください。この状況を避けるために、冷蔵庫には 2 個のプラスチック製スパーサーが付属しています。これらのスパーサーは冷蔵庫の後部に取り付けてください。



設置について

冷蔵庫は安定した、水平な床に設置してください。

冷蔵庫を移動させて配置させるために、後部には 2 個のキャスターが付いています。

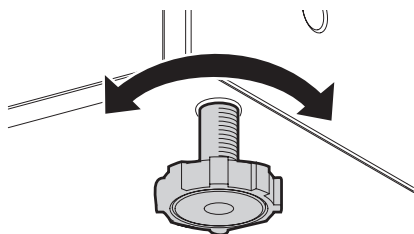


床の損傷させないために（特にフローリングの場合）、冷蔵庫は慎重に動かしてください。

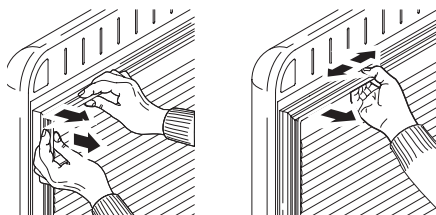
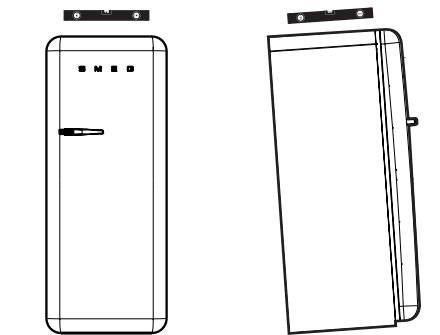


設置について

床が完全に水平でない場合は、冷蔵庫の前部にある 2 個の調整脚を使用してください。



脚を調節して冷蔵庫を水平にしてください。ドアが正しく閉まりやすくなるように、後ろ側がやや低くなるように冷蔵庫を傾けてください。



**パッキンへの負荷
機器を破損する危険**

- ドアパッキンを押す、ちぎる、はがすことはお控えください。

設置してから数日後に、冷蔵庫が変わらずに水平になっているかどうかを点検してください。冷蔵庫が作動して食品が中に入っている状態で、冷蔵庫が安定して設置されているか、ドアは密閉されているかを確認してください。必要に応じて、水平になるように再調整し、パッキンの形を整えてください。



正しく設置することで、ドアが正しく閉まります。パッキンに隙間が無い、特に角の部分をよく確認してください。

Sommario

1 Avvertenze	26
1.1 Come leggere il manuale d'uso	26
1.2 Questo manuale d'uso	26
1.3 Scopo dell'apparecchio	26
1.4 Avvertenze generali di sicurezza	27
1.5 Responsabilità del produttore	29
1.6 Targhetta di identificazione	29
1.7 Smaltimento	30
2 Descrizione	31
2.1 Descrizione generale	31
2.2 Definizione delle parti	31
2.3 Accessori disponibili	32
3 Uso	34
3.1 Avvertenze	34
3.2 Operazioni preliminari	34
3.3 Primo utilizzo	34
3.4 Uso degli accessori	34
3.5 Ventilazione	36
3.6 Uso della cella frigorifera	37
3.8 Rumori di funzionamento	38
3.9 Superficie anteriore calda	39
3.10 Spegnimento	39
3.11 Consigli per la conservazione	39
4 Pulizia e manutenzione	41
4.1 Avvertenze	41
4.2 Pulizia dell'apparecchio	41
4.3 Sbrinamento	42
4.4 Illuminazione interna	42
4.5 Cosa fare se...	42
5 Installazione	44
5.1 Collegamento elettrico	44
5.2 Posizionamento	44

Consigliamo di leggere attentamente questo manuale, che riporta tutte le indicazioni per il corretto utilizzo e per il corretto smaltimento dell'apparecchio acquistato.

Per ulteriori informazioni sul prodotto: www.smeg.com



Avvertenze

1 Avvertenze

1.1 Come leggere il manuale d'uso

Questo manuale d'uso utilizza le seguenti convenzioni di lettura:

Avvertenze



Informazioni generali per la sicurezza e per lo smaltimento finale.



Descrizione

Descrizione dell'apparecchio e degli accessori.



Uso

Informazioni sull'uso dell'apparecchio e degli accessori.



Pulizia e manutenzione

Informazioni per la corretta pulizia e manutenzione dell'apparecchio.



Installazione

Informazioni per il tecnico qualificato: installazione, messa in servizio e collaudo.



Informazione



Avvertenza di sicurezza



Suggerimento

1.2 Questo manuale d'uso

Questo manuale d'uso costituisce parte integrante dell'apparecchio e deve essere conservato integro e a portata di mano dell'utente per tutto il ciclo di vita dell'apparecchio.

1.3 Scopo dell'apparecchio

- Leggere attentamente le avvertenze contenute in questo manuale d'uso.
- Utilizzare questo apparecchio unicamente in ambienti chiusi.
- L'apparecchio non è destinato all'uso professionale e commerciale.
- Questo apparecchio è destinato alla refrigerazione e conservazione di alimenti freschi e surgelati in ambiente domestico. Ogni altro uso è improprio. Il presente apparecchio può essere utilizzato anche in ambienti quali:
 - ▶ la zona cucina destinata al personale di negozi, uffici e altri ambienti lavorativi;
 - ▶ aziende agricole e strutture di pernottamento annesse;
 - ▶ alberghi, motel bed and breakfast e altri ambienti di tipo residenziale;
 - ▶ i servizi catering e applicazioni simili non per la vendita al dettaglio.
- L'apparecchio non è concepito per funzionare con temporizzatori esterni o con sistemi di comando a distanza.
- Assicurarsi che i bambini non giochino con l'apparecchio. Tenere fuori dalla portata dei bambini.

AVVERTENZE PER BAMBINI E PERSONE CON DISABILITÀ

- Al fine di evitare il pericolo di scosse elettriche, incendi o altri incidenti simili, il presente apparecchio può essere utilizzato da bambini di età inferiore agli 8 anni e da persone con ridotte capacità fisiche, sensoriali o mentali, o prive di esperienza o della necessario conoscenza, purché sotto la sorveglianza di un adulto responsabile oppure dopo che le stesse abbiano ricevuto istruzioni relative all'uso sicuro dell'apparecchio e dalla comprensione dei pericoli ad esso inerenti.



1.4 Avvertenze generali di sicurezza

Per utilizzare questo prodotto in sicurezza, osservare le seguenti precauzioni.

Danni alle persone

Assicurarsi di leggere questo manuale di istruzioni prima dell'uso.

- In accordo alle attuali normative, si sconsiglia altamente di permettere ai bambini sotto agli 8 anni di utilizzare l'apparecchio.
- Tenere lontani i bambini inferiori agli 8 anni, se non continuamente sorvegliati, e assicurarsi che non giochino con l'apparecchio.
- Far eseguire l'installazione e gli interventi di assistenza da personale qualificato nel rispetto delle norme vigenti.
- Non modificare l'apparecchio.
- Non inserire oggetti metallici appuntiti (posate o utensili) nelle feritoie.
- Non tentare mai di riparare l'apparecchio da soli o senza l'intervento di un tecnico qualificato.
- Non toccare (specialmente con le mani bagnate) o mettere direttamente in bocca i cibi congelati.
- Non conservare sostanze infiammabili, esplosive o che evaporano.
- Non conservare sostanze esplosive, come bombolette spray all'interno dell'apparecchio.
- Le bottiglie con alta percentuale di alcol devono essere ben chiuse e in posizione verticale.
- Se il cavo di alimentazione elettrica è danneggiato, contattare subito il servizio di assistenza tecnica che provvederà a sostituire il cavo, in modo da prevenire ogni rischio.

Danni all'apparecchio

- Durante l'uso non appoggiare sull'apparecchio oggetti metallici appuntiti come coltelli, forchette cucchiaini e coperchi.
- Sulle parti in vetro non utilizzare detergenti abrasivi o corrosivi (es. prodotti in polvere, alcol, solventi, smacchiatori e spugnette metalliche).
- Non sedersi sull'apparecchio.
- Non fare leva sulla porta o sulla maniglia per spostare l'apparecchio.
- Non utilizzare getti di vapore per pulire l'apparecchio.
- Non usare in nessun caso l'apparecchio per rinfrescare l'ambiente.
- Staccare sempre dalla rete elettrica l'apparecchio in caso di guasto, manutenzione o durante la pulizia.
- Non conservare nel congelatore liquidi in lattine o contenitori di vetro.
- Non utilizzare oggetti metallici appuntiti per rimuovere il ghiaccio in eccesso dalla cella congelatore.
- Per evitare instabilità dell'apparecchio, installarlo e fissarlo correttamente come da istruzioni contenute in questo manuale.
- Non appoggiare oggetti pesanti sulla sommità dell'apparecchio.
- Se installato vicino ad un altro frigorifero o un freezer, mantenere una distanza minima di 2 cm.
- Non installare/utilizzare l'apparecchio all'aperto.



Avvertenze

ATTENZIONE:

- Durante il posizionamento dell'elettrodomestico, accertarsi che il cavo di alimentazione non sia impigliato o danneggiato.

ATTENZIONE:

- Non posizionare prese portatili multiple o alimentazioni di potenza portatili nella parte posteriore dell'elettrodomestico.
- Non utilizzare adattatori per spine.

Per questo apparecchio

- I bambini devono essere supervisionati per assicurarsi che non giochino con l'apparecchio.
- Non appoggiarsi o sedersi sulla porta aperta.
- Controllare che non rimangano incastrati oggetti nelle porte.
- L'apparecchio contiene una piccola quantità di isobutano (R600a), prestare attenzione durante il trasporto, montaggio o pulizia di non danneggiare il circuito di refrigerazione.
- Mantenere libere da ostruzioni le aperture di ventilazione nello spazio circostante l'apparecchio o nella nicchia di incasso.
- Non utilizzare dispositivi elettrici (come ad esempio phon), chimici (come ad esempio spray) per accelerare il processo di sbrinamento.
- Non danneggiare il circuito di refrigerazione (nel caso possa essere accessibile). In caso di danneggiamento del circuito di refrigerazione evitare l'utilizzo di fiamme libere ed aerare opportunamente il locale.
- Non utilizzare apparecchi elettrici all'interno degli scomparti per la conservazione dei cibi.
- Non utilizzare l'apparecchio o parti di esso diversamente da quanto indicato nel presente manuale.



ATTENZIONE:

- Rischio di incendio / materiali infiammabili.



ATTENZIONE:

- Evitare l'apertura della porta per lunghi periodi.
- Pulire regolarmente le superfici che possono venire a contatto con cibo e sistemi di drenaggio accessibili.
- Conservare la carne cruda e il pesce in contenitori adatti in frigorifero, in modo che non vengano in contatto con altri alimenti o ci gocciolino sopra.
- Se l'apparecchio viene lasciato inutilizzato per lunghi periodi, spegnerlo, scongelarlo, pulirlo, asciugarlo e lasciare la porta aperta per evitare lo sviluppo di muffa al suo interno.

1.5 Responsabilità del produttore

Il produttore declina ogni responsabilità per danni subiti da persone e cose causati da:

- uso dell'apparecchio diverso da quello previsto;
- inosservanza delle prescrizioni del manuale d'uso;
- manomissione anche di una singola parte dell'apparecchio;
- utilizzo di ricambi non originali;
- mancato rispetto delle avvertenze sulla sicurezza.

1.6 Targhetta di identificazione

La targhetta di identificazione riporta i dati tecnici, il numero di matricola e la marcatura. La targhetta di identificazione non deve mai essere rimossa.



Avvertenze

1.7 Smaltimento



Questo apparecchio deve essere smaltito separatamente dagli altri rifiuti (direttive 2002/95/CE, 2002/96/CE, 2003/108/CE).

- Questo apparecchio non contiene sostanze in quantità tali da essere ritenute pericolose per la salute e l'ambiente, in conformità alle attuali direttive europee.
- Conferire l'apparecchio agli idonei centri di raccolta differenziata dei rifiuti elettrici ed elettronici, oppure riconsegnare l'apparecchio al rivenditore al momento dell'acquisto di una apparecchiatura equivalente, in ragione di uno ad uno.
- In caso di sostituzione dell'apparecchio, rimuovere la porta e lasciare i ripiani nelle posizioni di utilizzo, al fine di evitare che i bambini possano rimanere bloccati all'interno.



Tensione elettrica Pericolo di folgorazione

- Disattivare l'alimentazione elettrica generale e staccare il cavo di alimentazione elettrica dall'impianto elettrico.
- Conferire i materiali dell'imballaggio agli idonei centri di raccolta differenziata. Il corretto smaltimento e il riciclo dei materiali servono a proteggere l'ambiente.
- Per l'imballaggio dell'apparecchio vengono utilizzati materiali non inquinanti e riciclabili.



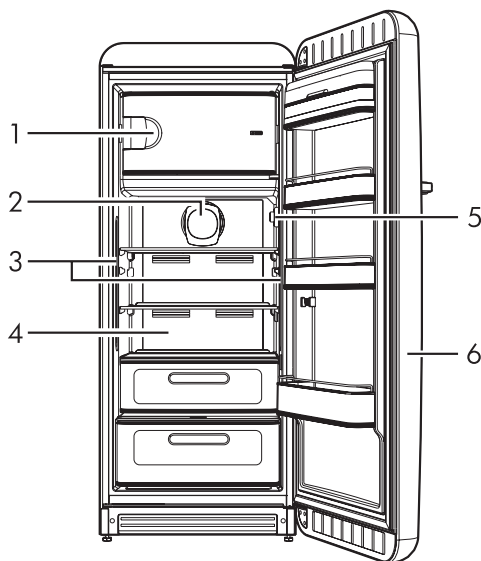
Imballi di plastica Pericolo di soffocamento

- Non lasciare incustodito l'imballaggio o parti di esso.
- Non permettere che bambini giochino con i sacchetti di plastica dell'imballaggio.



2 Descrizione

2.1 Descrizione generale



1. Cella congelatore
2. Ventola
3. Illuminazione interna
4. Cella frigorifera
5. Termostato
6. Porta frigorifero

2.2 Definizione delle parti

Cella congelatore

Utile per la conservazione di alimenti surgelati, per il congelamento degli alimenti freschi e per la produzione di cubetti di ghiaccio.

Ventola

Utile per la distribuzione della temperatura e per diminuire la condensa sulle superfici di appoggio.

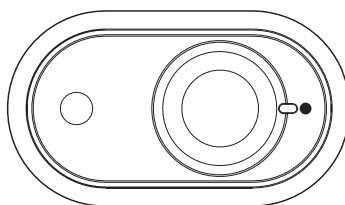
Illuminazione interna

L'illuminazione interna dell'apparecchio entra in funzione con l'apertura della porta.

Cella frigorifera

Utile per la conservazione di alimenti freschi.

Termostato



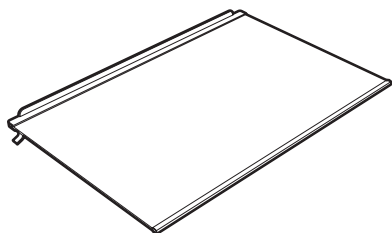
Utile per selezionare la temperatura all'interno della cella frigorifera e della cella congelatore.



Descrizione

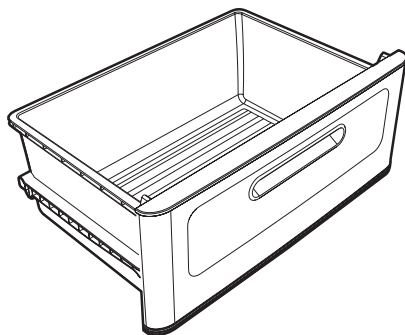
2.3 Accessori disponibili

Ripiani



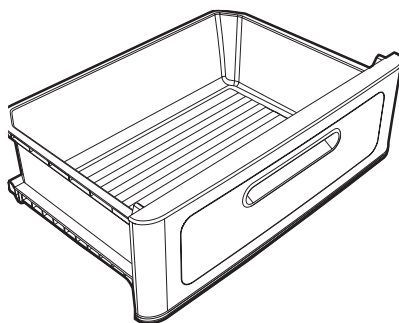
Utili per ottimizzare lo spazio e riporre gli alimenti all'interno della cella frigorifera.

Cassetto frutta e verdura



Utile per la conservazione di frutta e verdura, assicura il costante grado di umidità al suo interno.

Cassetto super freddo



Utile per conservare più a lungo la freschezza e il sapore di alimenti delicati quali carne, pesce e alimenti leggermente congelati, dato che la temperatura è mantenuta costantemente tra i -2°C e i $+3^{\circ}\text{C}$. È maggiormente indicato per la conservazione a lungo termine di prodotti che non si possono congelare.

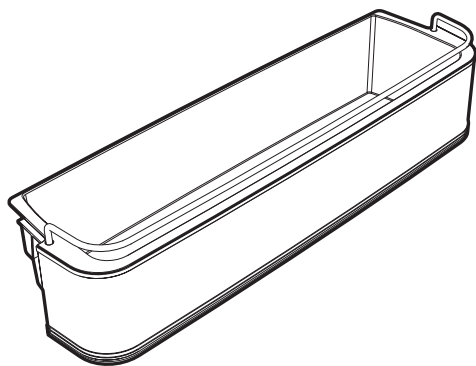


Non riporre nello scomparto super-freddo alimenti da congelare o vassoi per produrre ghiaccio.



Balconcini e contenitori della porta

Utili per riporvi alimenti imballati in piccoli pacchetti. Il contenitore nella parte bassa della porta è utile per il posizionamento di bottiglie.



Gli accessori che possono venire a contatto con gli alimenti, sono costruiti con materiali conformi a quanto prescritto dalle leggi in vigore.



3 Uso

3.1 Avvertenze



Uso non corretto
Pericolo di danni all'apparecchio

- Non rimuovere ghiaccio o brina con oggetti taglienti per evitare danni alle pareti dell'apparecchio.
- Non appoggiarsi o sedersi sulla porta o su eventuali cassetti aperti.
- Non toccare gli elementi riscaldanti all'esterno dell'apparecchio.
- Non conservare sostanze infiammabili, esplosive o che evaporano.
- Non conservare sostanze esplosive, come bombolette spray con propellente infiammabile all'interno dell'apparecchio.
- Le sostanze organiche, acide e gli oli eteri possono corrodere le superfici in plastica e le guarnizioni se a contatto per lungo tempo.
- Le bottiglie con alta percentuale di alcol devono essere ben chiuse e in posizione verticale.

3.2 Operazioni preliminari

1. Rimuovere eventuali pellicole protettive all'esterno o all'interno dell'apparecchio e dagli accessori.
2. Rimuovere eventuali etichette (ad eccezione della targhetta con i dati tecnici) da accessori e dai ripiani.
3. Rimuovere e lavare tutti gli accessori dall'apparecchio (vedi 4 Pulizia e manutenzione).

3.3 Primo utilizzo



Dopo l'installazione o un eventuale riposizionamento dell'apparecchio, attendere almeno due ore prima di metterlo in funzione.

Inserire la spina nella presa elettrica. Per accendere l'apparecchio, ruotare la manopola termostato dalla posizione 1 - 5, a seconda della temperatura desiderata.



Con l'incremento delle posizioni da 1 a 5 la temperatura all'interno del frigorifero diminuisce.

Allarme porta aperta

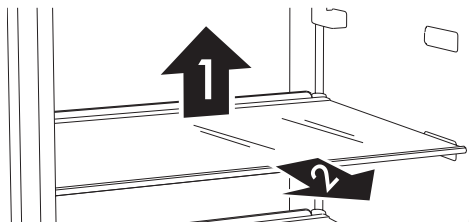
Quando la porta dell'apparecchio rimane aperta a lungo, un segnale sonoro e visivo (luci interne lampeggianti) avviserà l'utente di richiudere la porta.

3.4 Uso degli accessori

Ripiani

Ogni ripiano ha una protezione contro l'uscita accidentale.

Per estrarli completamente, sollevarli nella parte posteriore (1) e toglierli (2).

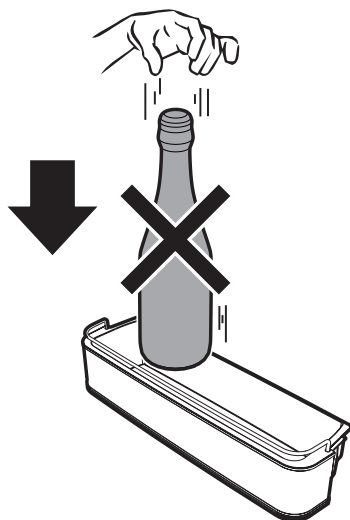




Gli alimenti facilmente degradabili devono essere posizionati sulla parte posteriore dei ripiani dove la temperatura è più bassa.

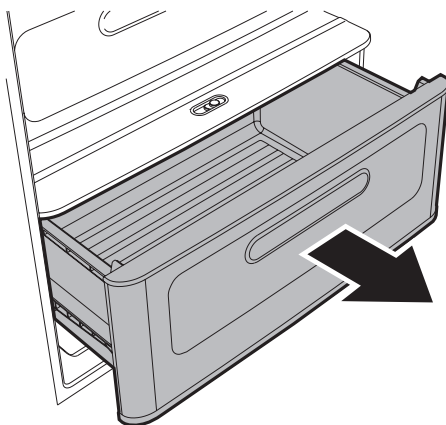
Balconcini e contenitori della porta

Utili per la conservazione di uova, burro, latticini, barattoli di vetro e altri piccoli pacchetti. Nella parte bassa della porta è presente un contenitore per le bottiglie. Evitare di posizionare nel contenitore inferiore bottiglie troppo pesanti e di lasciarle cadere sul fondo al momento del posizionamento.



Cassetto frutta e verdura

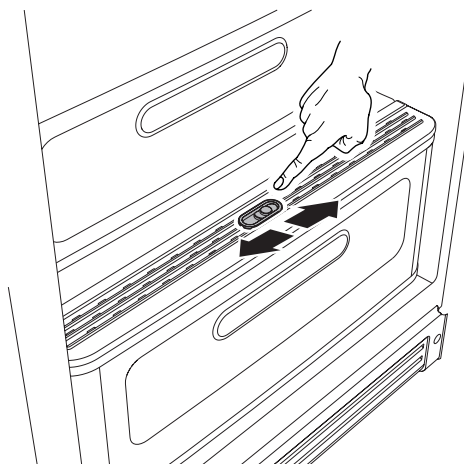
È posizionato nella parte bassa della cella frigorifera in cui è previsto un apposito ripiano in vetro per la copertura degli alimenti freschi, che necessitano di condizioni di umidità costante per la corretta conservazione.



La conservazione di verdure con elevato contenuto di acqua può provocare la formazione di condensa sul ripiano in vetro. Questo naturale fenomeno non pregiudica il corretto funzionamento dell'apparecchio.



Regolatore umidità cassetto



Utile per regolare l'umidità all'interno del cassetto frutta e verdura. Scorrere il regolatore in senso orizzontale per aprire o chiudere il passaggio d'aria attraverso le feritoie.



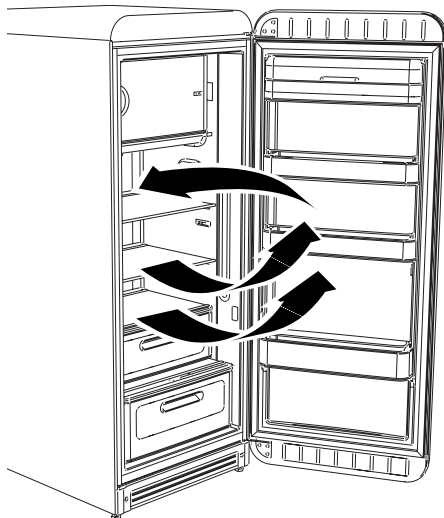
La conservazione di verdure con elevato contenuto di acqua può provocare la formazione di condensa sul ripiano in vetro. Questo naturale fenomeno non pregiudica il corretto funzionamento dell'apparecchio.

3.5 Ventilazione



Prima di inserire le vivande nell'apparecchio è consigliabile sigillarle bene.

L'aria che circola all'interno dell'apparecchio è priva di umidità e asciuga rapidamente i cibi inseriti.



Il sistema di ventilazione interna, permette di raffreddare i cibi più rapidamente e mantiene una refrigerazione omogenea all'interno dell'apparecchio.



3.6 Uso della cella frigorifera

Sistemazione degli alimenti

Disporre gli alimenti sui vari ripiani avendo cura di confezionarli e coprirli ermeticamente. Tale accorgimento consente di:

- conservare l'aroma, l'umidità e la freschezza dei cibi;
- evitare che si possano verificare contaminazioni di odori e gusto fra gli alimenti;
- evitare un eccessivo accumulo di umidità all'interno dello scomparto, dovuto alla normale traspirazione dei cibi (in particolare di frutta e verdura fresca).

In determinate condizioni di funzionamento, l'aumento della temperatura, l'umidità dell'ambiente e l'aumento della frequenza d'apertura porta, potrebbero creare formazione di condensa sui ripiani.



Far raffreddare sempre a temperatura ambiente alimenti e bevande calde prima di introdurle all'interno dell'apparecchio.

3.7 Uso della cella congelatore

Per una corretta conservazione e congelamento degli alimenti:

- confezionare frutta e verdura in porzioni al massimo di 1 kg ; carne e pesce in porzioni al massimo di 2 kg;
- confezioni ridotte congelano rapidamente con migliore conservazione delle proprietà nutritive anche dopo lo scongelamento/preparazione;
- confezionare gli alimenti in confezioni ermetiche e rimuovere il più possibile l'aria presente all'interno;
- non utilizzare sacchetti di carta o sacchetti per la spesa, utilizzare sempre gli appositi sacchetti/contenitori per il congelamento.



Far raffreddare sempre a temperatura ambiente alimenti e bevande calde prima di introdurle all'interno dell'apparecchio.

Tabella dei tempi di conservazione

Alimenti	Tempo
Uova, carne affumicata, cibi marinati, formaggio	max 10 giorni
Verdure con radici	max 8 giorni
Burro	max 7 giorni
Pasticcini, frutta, alimenti pronti, carne fresca	max 2 giorni
Pesce, carne macinata, frutti di mare	max 1 giorno



Tabella dei tempi di conservazione degli alimenti congelati

Alimenti	Tempo
Frutta, manzo	max 10-12 mesi
Verdura, vitello, pollame	max 8-10 mesi
Selvaggina	max 6-8 mesi
Maiale	max 4-6 mesi
Carne macinata	max 4 mesi
Pane, dolci, cibi cotti, pesce grasso	max 3 mesi
Interiora	max 2 mesi
Salsicce, pesce magro	max 1 mese

Alimenti scongelati

Gli alimenti scongelati devono essere consumati il più presto possibile. Il freddo conserva, ma non distrugge i microorganismi che si attivano dopo lo scongelamento e danneggiano gli alimenti.

Lo scongelamento parziale abbassa il valore nutritivo degli alimenti, soprattutto della frutta e della verdura e degli alimenti già pronti. Scongelarli completamente.

3.8 Rumori di funzionamento

Il raffreddamento della cella frigorifero e della cella congelatore avviene tramite un sistema a compressione. Per mantenere la temperatura selezionata all'interno delle celle, il compressore entra in funzione e a seconda del raffreddamento richiesto, se necessario, può funzionare in continuo.

Quando il compressore entra in funzione si genera un ronzio che tende a diminuire di intensità dopo qualche minuto.

Altro rumore legato al normale funzionamento dell'apparecchio è un gorgoglio dovuto al passaggio del refrigerante all'interno dei tubi del circuito. Tale rumore è normale e non è segnale di cattivo funzionamento della macchina.

Qualora risultasse troppo forte è possibile che l'origine sia dovuta anche ad altre cause. Occorre quindi verificare che:

- il frigorifero sia livellato correttamente sul pavimento e durante il funzionamento del compressore non vibri:
 - procedere ad una corretta regolazione dei piedini in dotazione;
- i cassetti, i ripiani e le vaschette sulla porta siano sistemati in modo corretto e nelle apposite sedi:
 - provvedere al corretto inserimento;
- bottiglie e contenitori sui vari ripiani siano sistemati in modo stabile e non contatto tra loro:
 - la vibrazione dovuta al funzionamento del compressore potrebbe generare una certa rumorosità;
- il frigorifero non sia a contatto con mobili o altri elettrodomestici:
 - tenere sempre una distanza minima di 2 cm.



3.9 Superficie anteriore calda

È previsto un sistema di riscaldamento della superficie anteriore che permette di limitare la formazione di condensa nella zona di chiusura della guarnizione della porta.

3.10 Spegnimento

Qualora dovesse rimanere inutilizzato per lungo tempo si consiglia di spegnere l'apparecchio, staccare la spina dalla presa elettrica, procedere allo svuotamento delle celle e dopo lo sbrinamento asciugare con un panno morbido l'umidità residua accumulata.



Lasciare le porte socchiuse per evitare che umidità e aria stagnante generino cattivi odori.

3.11 Consigli per la conservazione

Consigli per il risparmio energetico

- L'uso adeguato dell'apparecchio, l'imballo giusto degli alimenti, la temperatura costante e l'igiene degli alimenti influiscono in modo decisivo sulla qualità di conservazione.
- Ridurre il tempo e il numero di aperture delle porte per evitare un eccessivo riscaldamento delle celle.
- Pulire periodicamente il condensatore sulla parte posteriore dell'apparecchio per una migliore efficienza energetica della macchina.
- Scongelerare i surgelati nella cella frigorifera per recuperare in essa il freddo accumulato dagli alimenti congelati.

Consigli generali

- Controllare sempre la data di scadenza degli alimenti riportata sulla confezione.
- Gli alimenti devono essere conservati in recipienti chiusi o imballati adeguatamente e non devono emanare o assorbire odori e umidità.
- Se ci si assenta per lungo tempo, rimuovere dall'apparecchio gli alimenti facilmente degradabili.

Porta cella frigorifera

- Nella parte superiore e centrale conservare uova, burro, formaggio...
- Nella parte inferiore conservare bevande, lattine, bottiglie...



Cella frigorifera

- Nella parte superiore conservare alimenti conservati in barattoli di vetro o latta, vino, biscotti...
- Nella parte centrale conservare latticini, alimenti già pronti, pasticceria, succhi di frutta, birra...
- Nella parte inferiore conservare carne, salumi...
- Nel cassetto per frutta e verdura conservare frutta e verdura.

Cella congelatore

- Sull'imballo devono essere segnati i dati sul tipo di alimento, la quantità e la data di congelamento.
- Utilizzare confezioni piccole e se possibile già fredde.
- Utilizzare appositi sacchetti per il congelamento, fogli di alluminio, pellicole in polietilene per uso alimentare e contenitori per congelare.
- Non utilizzare sacchetti di carta, in cellophan non per uso alimentare, sacchetti per la spesa o per il congelamento già utilizzati.
- Evitare che alimenti già congelati vengano a contatto con alimenti freschi da congelare.
- Conservare verdura confezionata, ghiaccio, gelati...



4 Pulizia e manutenzione

4.1 Avvertenze



Uso non corretto Rischio di danni alle superfici

- Non utilizzare getti di vapore per pulire l'apparecchio.
- Sulle parti in acciaio o trattate superficialmente con finiture metalliche (ad es. anodizzazioni, nichelature, cromature) non utilizzare prodotti per la pulizia contenenti cloro, ammoniaca o candeggina.
- Sulle parti in vetro non utilizzare detergenti abrasivi o corrosivi (es. prodotti in polvere, smacchiatori e spugnette metalliche).
- Non utilizzare materiali ruvidi, abrasivi o raschietti metallici affilati.



Tensione elettrica Pericolo di folgorazione

- Prima di effettuare la pulizia o la manutenzione, spegnere l'apparecchio e scollegarlo dalla rete elettrica
- Non tirare mai il cavo per staccare la spina.

4.2 Pulizia dell'apparecchio

Una particolare protezione antibatterica nello strato superiore delle pareti dell'apparecchio impedisce la riproduzione di batteri e ne conserva la pulizia. Tuttavia, per una buona conservazione delle superfici occorre pulirle regolarmente.

Pulizia della parte esterna

- L'apparecchio deve essere pulito con acqua o con detersivo liquido a base di alcol (ad es. detersivo per i vetri...).
- Evitare detersivi e spugne aggressive per non danneggiare le superfici.
- Con una spazzola morbida, rimuovere la polvere e i depositi di fumo dal condensatore sul retro dell'apparecchio.
- Pulire la vaschetta posta sopra il compressore.

Pulizia della parte interna

- Pulire l'interno dell'apparecchio con detersivo liquido diluito e con acqua tiepida con l'aggiunta di un po' di aceto.
- I balconcini e i contenitori delle porte possono essere estratti: picchiare con il pugno dal basso verso l'alto, prima da un lato e poi dall'altro nella zona di inserimento.
- Eliminare gli eventuali strati di ghiaccio. Non utilizzare oggetti appuntiti o soluzioni spray.



4.3 Sbrinamento



La presenza periodica di brina all'interno della cella congelatore è normale.



Non utilizzare apparecchi elettrici (ad es. phon per i capelli...) o spray per lo sbrinamento che potrebbero deformare le parti in plastica.

Sbrinamento della cella frigorifera

La cella frigorifera non ha bisogno di essere sbrinata in quanto il ghiaccio formatosi sulla piastra refrigerante si scioglie automaticamente durante l'arresto del compressore. Il processo di sbrinamento è automatico. L'acqua di sbrinamento viene convogliata direttamente nell'apposita vaschetta sulla parte posteriore dell'apparecchio, il quale attraverso il calore generato dal compressore, la fa evaporare.

Sbrinamento della cella congelatore

- Lo scomparto congelatore necessita di uno sbrinamento manuale. Quando lo spessore di brina o ghiaccio raggiunge uno spessore superiore ai 2 cm si consiglia di effettuare lo sbrinamento.
- Qualche ora prima di procedere allo sbrinamento, impostare il termostato sulla regolazione massima in modo da raffreddare ulteriormente gli alimenti congelati.
- Successivamente staccare la spina dalla rete elettrica.
- Togliere i surgelati dal comparto e proteggerli dallo scongelamento durante la fase di pulizia.

4.4 Illuminazione interna

Il sistema di illuminazione interna se danneggiato dev'essere riparato solamente dal Servizio Assistenza Tecnica.

4.5 Cosa fare se...

L'apparecchio non funziona:

- Controllare che l'apparecchio sia collegato e che l'interruttore generale sia inserito.

Il compressore entra in funzione con troppa frequenza o ininterrottamente:

- La temperatura dell'ambiente esterno è troppo alta.
- L'apertura della porta è troppo frequente o troppo prolungata.
- La porta non chiude ermeticamente.
- È presente una quantità eccessiva di cibi freschi nella cella congelatore.
- Verificare che circoli abbastanza aria vicino al sensore posto nella parte destra della cella frigorifera.
- Verificare che la parte posteriore della cella congelatore sia sufficientemente arieggiata e che il condensatore non sia eccessivamente sporco.

All'interno della cella frigorifera è presente una eccessiva formazione di ghiaccio o di condensa:

- L'apertura della porta è troppo frequente o troppo prolungata.
- Sono stati introdotti alimenti caldi all'interno della cella frigorifera.
- Gli alimenti o i contenitori sono a contatto con la parete posteriore.
- La guarnizione della porta è sporca o danneggiata. Procedere alla sua pulizia o alla sua sostituzione.



Il raffreddamento della cella frigorifera è insufficiente:

- Il termostato di regolazione è impostato su una temperatura troppo alta.
- L'apertura della porta è troppo frequente o troppo prolungata.
- La porta non chiude ermeticamente.
- La temperatura dell'ambiente esterno è troppo alta.

La temperatura all'interno della cella frigorifera è troppo fredda e congela gli alimenti:

- Il termostato di regolazione è impostato su una temperatura troppo bassa.
- Alimenti non coperti con gli appositi contenitori o sacchetti.
- Frutta e verdura potrebbero essere eccessivamente bagnati.
- Gli alimenti o i contenitori sono a contatto con la parete posteriore.

La temperatura all'interno della cella congelatore non permette un corretto congelamento degli alimenti:

- Il termostato di regolazione è impostato su una temperatura troppo alta.
- L'apertura della porta è troppo frequente o troppo prolungata.
- La porta non chiude ermeticamente.
- La guarnizione della porta è sporca o danneggiata. Procedere alla sua pulizia o alla sua sostituzione.
- È presente una elevata quantità di zuccheri nell'alimento da congelare.

All'interno della cella congelatore è presente una eccessiva formazione di ghiaccio:

- Il termostato di regolazione è impostato su una temperatura troppo bassa.
- La temperatura dell'ambiente esterno è troppo alta.
- L'apertura della porta è troppo frequente o troppo prolungata. La porta non chiude ermeticamente.
- La guarnizione della porta è sporca o danneggiata. Procedere alla sua pulizia o alla sua sostituzione.
- Sono stati introdotti alimenti caldi all'interno della cella congelatore.

Si presentano difficoltà di apertura delle porte subito dopo la loro chiusura:

- Se si cerca di riaprire una porta subito dopo la chiusura della stessa (in particolare nel caso della porta congelatore), occorre esercitare molta forza. Tale fenomeno è dovuto alla depressione creata dal raffreddamento dell'aria calda entrata nella cella.

Le porte sono disallineate:

- Verificare il corretto livellamento dell'apparecchio.
- Intervenire sui piedini per migliorare il livellamento.



Installazione

5 Installazione

5.1 Collegamento elettrico



**Tensione elettrica
Pericolo di folgorazione**

- È obbligatorio il collegamento di terra secondo le modalità previste dalle norme di sicurezza dell'impianto elettrico.
- Non tirare mai il cavo per staccare la spina.
- Se non è disponibile il collegamento di terra, contattare il rivenditore o un elettricista per un impianto di terra modello D.

Informazioni generali

- Controllare che le caratteristiche della rete elettrica siano adatte ai dati riportati sulla targhetta. La targhetta di identificazione, con i dati tecnici, il numero di matricola e la marcatura è visibilmente posizionata nell'apparecchio. La targhetta non deve mai essere rimossa.
- Controllare che spina e presa siano dello stesso tipo.
- Evitare l'utilizzo di riduzioni, adattatori o derivatori in quanto potrebbero provocare riscaldamento o bruciature.
- Posizionare l'apparecchio in prossimità della presa, in modo da poterlo scollegare in modo agevole.
- Prima di accendere l'apparecchio per la prima volta, lasciarlo in posizione verticale per almeno 2 ore.
- In caso di necessità di sostituzione del cavo di alimentazione, l'operazione deve essere eseguita solamente da un tecnico autorizzato del Servizio Assistenza Tecnica.

5.2 Posizionamento



**Apparecchio pesante
Pericolo di ferite da
schiacciamento**

- Posizionare l'apparecchio con l'aiuto di una seconda persona.



**Pressione sulla porta aperta
Rischio di danni
all'apparecchio**

- Non usare la porta aperta come leva per posizionare l'apparecchio.
- Non esercitare pressioni eccessive sulla porta aperta.
- L'apparecchio non deve essere esposto all'irraggiamento solare.
- L'apparecchio non deve essere posizionato vicino a fonti di calore. Se questo non è possibile, è necessario utilizzare un adeguato pannello isolante.
- Non collocare l'apparecchio in ambienti esterni.

Scelta del luogo

L'apparecchio deve essere collocato in ambiente asciutto e con un sufficiente ricambio d'aria. A seconda della classe climatica di appartenenza (indicata nella targhetta caratteristica applicata all'interno della cella frigorifera) l'apparecchio può essere utilizzato in diverse condizioni di temperatura.

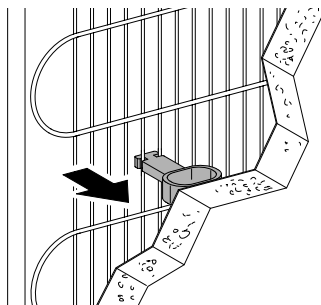
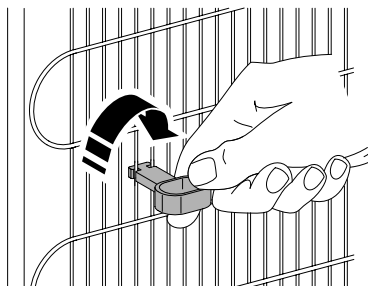
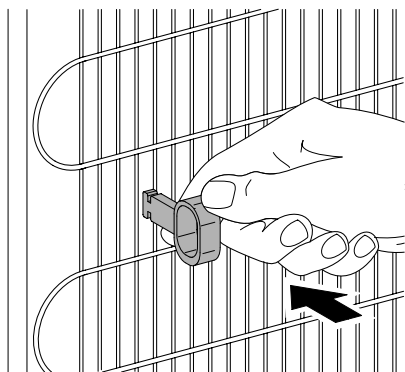
Classe	Temperatura ambiente
SN (Subnormale)	da + 10°C a + 32°C
N (Normale)	da + 16°C a + 32°C
ST (Subtropicale)	da + 18°C a + 38°C
T (Tropicale)	da + 18°C a + 43°C



- Posizionare l'apparecchio ad una distanza di 3 cm da cucine elettriche o a gas e almeno 30 cm da sistemi di riscaldamento a combustione o radiatori.
- L'apparecchio non deve essere posizionato vicino a fonti di calore. Se questo non è possibile, è necessario utilizzare un adeguato pannello isolante.
- Se installato sotto un pensile, mantenere la distanza di almeno 5 cm. da questo.
- Assicurarsi di collocare l'apparecchio dove vi sia spazio sufficiente per l'apertura della porta e per l'eventuale rimozione dei ripiani e cassette interni.

Distanziali

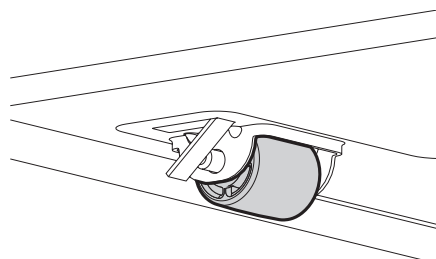
Per assicurare un corretto raffreddamento del condensatore l'apparecchio non deve essere posizionato troppo vicino al muro. Per evitare ciò, il prodotto è corredato di due distanziatori in plastica, che devono essere posizionati sulla parte posteriore dell'apparecchio.



Collocamento

Posizionare l'apparecchio su un fondo stabile e livellato.

Due ruote sono collocate nella parte posteriore dell'apparecchio per consentire una movimentazione più agevole e quindi un corretto posizionamento.

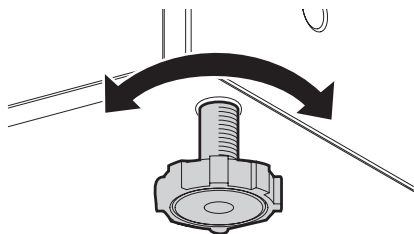


Tuttavia si consiglia di fare molta attenzione durante lo spostamento, affinché lo scorrimento non danneggi il pavimento (ad esempio se il frigorifero risulta posizionato su parquet).

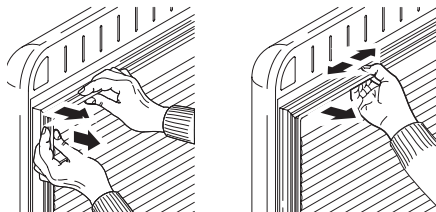
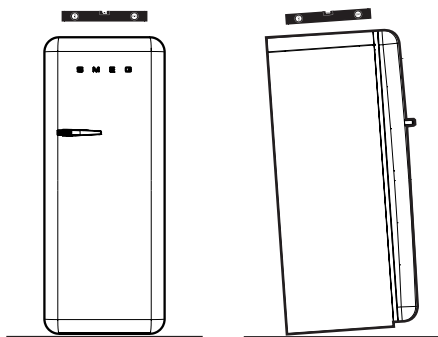


Installazione

Per compensare le irregolarità della pavimentazione, l'apparecchio è dotato di due piedini regolabili nella parte anteriore



Agire sui piedini per livellare orizzontalmente l'apparecchio. Per agevolare una corretta chiusura della porta inclinare leggermente l'apparecchio verso la parte posteriore.



**Pressione sulla guarnizione
Rischio di danni
all'apparecchio**

- Non esercitare forza, non lacerare o distaccare la guarnizione dalla porta.

Dopo qualche giorno dall'installazione verificare che il livellamento iniziale sia ancora corretto. Controllare che ad apparecchio funzionante e caricato con alimenti, risulti ancora stabile e che le guarnizioni porta chiudano ermeticamente. Se necessario effettuare un nuovo livellamento e modellare nuovamente le guarnizioni.



Una corretta installazione deve consentire alla porta di chiudersi correttamente. Verificare che le guarnizioni porta chiudano ermeticamente soprattutto negli angoli.

Contents

1 Instructions	48
1.1 How to read the user manual	48
1.2 This user manual	48
1.3 Appliance purpose	48
1.4 General safety instructions	49
1.5 Manufacturer liability	51
1.6 Identification plate	51
1.7 Disposal	52
2 Description	53
2.1 General description	53
2.2 Description of parts	53
2.3 Available accessories	54
3 Use	56
3.1 Instructions	56
3.2 Preliminary operations	56
3.3 First use	56
3.4 Using the accessories	56
3.5 Ventilation	58
3.6 Using the refrigerator compartment	59
3.8 Noises during operation	60
3.9 Heated front surface	60
3.10 Turning the appliance off	61
3.11 Food storage advice	61
4 Cleaning and maintenance	63
4.1 Instructions	63
4.2 Cleaning the appliance	63
4.3 Defrosting	64
4.4 Inside lighting	64
4.5 What to do if...	64
5 Installation	66
5.1 Electrical connection	66
5.2 Positioning	66

We advise you to read this manual carefully, which contains all the instructions on the correct use and disposal of the appliance you have purchased.

For further information on the product: www.smeg.com



Instructions

1 Instructions

1.1 How to read the user manual

This user manual uses the following reading conventions:

Instructions



General information on safety and final disposal.



Description

Description of the appliance and its accessories.



Use

Information on the use of the appliance and its accessories.



Cleaning and maintenance

Information for proper cleaning and maintenance of the appliance.



Installation

Information for the qualified technician: Installation, operation and inspection.



Information



Safety instructions



Advice

1.2 This user manual

This user manual is an integral part of the appliance and must therefore be kept in its entirety and within the user's reach for the whole working life of the appliance.

1.3 Appliance purpose

- Please read the warnings in this user manual carefully.
- Use this appliance only indoors.
- The appliance is not designed for professional and commercial use.
- This appliance is for refrigeration and conservation of fresh and frozen foods in the home. Every other use is considered inappropriate. This appliance can also be used in environments such as:
 - ▶ staff kitchen areas in shops, offices and other working environments;
 - ▶ farms and attached accommodation facilities;
 - ▶ hotels, motels, bed and breakfasts and other residential establishments;
 - ▶ catering and similar non-retail applications.
- The appliance is not designed to operate with external timers or with remote-control systems.
- Ensure that children do not play with the appliance. Keep out of reach of children.

WARNINGS FOR CHILDREN AND PEOPLE WITH DISABILITIES

- In order to avoid the danger of electric shock, fire or other similar accidents, this appliance may be used by children under 8 years of age, and by people of reduced physical, sensory or mental capacity, or lacking in experience and knowledge in the use of the appliance, provided that they instructed on safe use of the appliance and the risks connected to it by an adult who is responsible for their safety.



1.4 General safety instructions

To use this appliance safely, observe the following precautions.

Risk of personal injury

Be sure to read this instruction manual before use.

- In accordance with current regulations, it is highly inadvisable to allow children under 8 years of age to use the appliance.
- Keep children under the age of eight at a safe distance unless they are constantly supervised and make sure that they do not play with the appliance.
- Installation and servicing should be carried out by qualified personnel in accordance with current standards.
- Do not modify this appliance.
- Do not insert pointed metal objects (cutlery or utensils) into the slots in the appliance.
- Do not try to repair the appliance yourself or without the assistance of a qualified technician.
- Do not touch (especially with wet hands) frozen products or put them in your mouth directly.
- Do not store inflammable, explosive or volatile substances.
- Do not keep explosive substances, such as spray bottles in the appliance.
- Bottles containing strong alcoholic drinks must be tightly closed and stored vertically.
- If the power supply cable is damaged, contact technical support immediately and they will replace it, so as to prevent any risk.

Risk of damaging the appliance

- Never rest sharp metal objects such as knives, forks, spoons and lids on the appliance during use.
- Do not use abrasive or corrosive detergents on glass parts (e.g. scouring powders, alcohol, solvents, stain removers and metallic sponges).
- Do not sit on the appliance.
- Do not prize on the door or handle to move the appliance.
- Do not use steam jets to clean the appliance.
- Do not use the appliance to cool rooms for any reason.
- Always unplug the appliance in the event of a fault or when performing cleaning or maintenance.
- Do not keep liquids in tins or glass containers in the freezer.
- Do not use sharp metal objects to remove excess ice build-up in the freezer compartment.
- To prevent instability of the appliance, install and secure it correctly as indicated in the instructions provided in this manual.
- Do not place heavy objects on the top of the appliance.
- If installed near another refrigerator or freezer, keep it at a minimum distance of 2 cm.
- Do not install/use the appliance outdoors.



Instructions

WARNING:

- while positioning the appliance, make sure that the power supply cable is not caught or damaged.

WARNING:

- do not place portable multiple sockets or portable power supply units at the back of the appliance.
- Do not use adaptors for plugs.

For this appliance

- Children must be supervised to ensure that they do not play with the appliance.
- Do not rest any weight or sit on the open door of the appliance.
- Take care that no objects are stuck in the doors.
- The appliance contains a small quantity of isobutane (R600a), make sure not to damage the cooling circuit during transport, installation and cleaning.
- Keep the ventilation openings surrounding the appliance or in the nearby area free from any obstructions.
- Do not use electrical (e.g. hair dryer) or chemical (e.g. spray) devices to speed up the defrosting process.
- Do not damage the cooling circuit (if it can be accessed). In the event of damage to the cooling circuit, avoid the use of naked flames and ventilate the area properly.
- Do not use electrical appliances inside the food storage compartments.
- Do not use the appliance or parts of it in ways other than those specified in this manual.



WARNING:

- risk of fire, flammable materials.



WARNING:

- Avoid opening the door for long periods.
- Clean surfaces that may come into contact with food and accessible drainage systems regularly.
- Store raw meat and fish in suitable containers in the refrigerator, so that they don't come into contact with other food or drip on it.
- If the appliance is left empty for long periods of time, switch it off, thaw it, clean it, dry it and leave the door open to prevent the development of mould inside.

1.5 Manufacturer liability

The manufacturer declines all liability for damage to persons or property caused by:

- use of the appliance other than that specified;
- Failure to comply with the instructions in the user manual;
- Tampering with any part of the appliance;
- use of non-genuine spare parts;
- non-compliance with safety warnings.

1.6 Identification plate

The identification plate bears the technical data, serial number and brand name of the appliance. Do not remove the identification plate for any reason.



Instructions

1.7 Disposal



This appliance must be disposed of separately from other waste (Directives 2002/95/EC, 2002/96/EC, 2003/108/EC).

- The appliance does not contain substances in quantities sufficient to be considered hazardous to health and the environment, in accordance with current European directives.
- Deliver the appliance to the appropriate recycling centre for electrical and electronic equipment waste, or return it to the retailer when purchasing an equivalent product, on a one for one basis.
- If the appliance is replaced, remove the door and leave the shelves in their positions, in order to prevent children from being trapped inside.



Power voltage **Danger of electrocution**

- Switch off the general power supply and disconnect the power cable from the electrical system.
- Deliver the packing materials to the appropriate recycling centre. Proper disposal and recycling of materials serve to protect the environment.
- Appliances are packaged in non-polluting and recyclable materials.



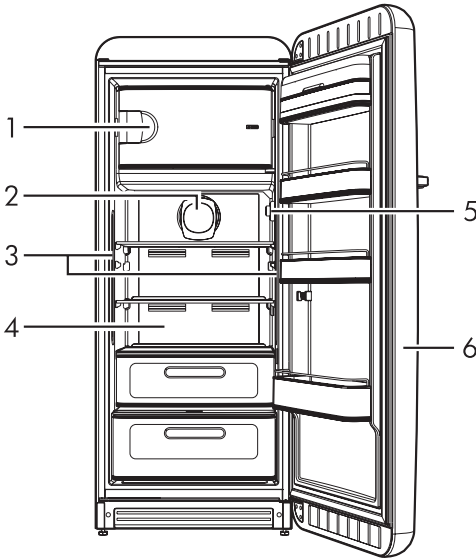
Plastic packaging **Danger of suffocation**

- Do not leave the packaging or any part of it unattended.
- Do not let children play with the plastic bags.



2 Description

2.1 General description



1. Freezer compartment
2. Fan
3. Interior lighting
4. Refrigerator compartment
5. Thermostat
6. Fridge door

2.2 Description of parts

Freezer compartment

For storing frozen foods, freezing fresh foods and producing ice cubes.

Fan

Distributes the temperature and reduces condensation on the shelves and other surfaces.

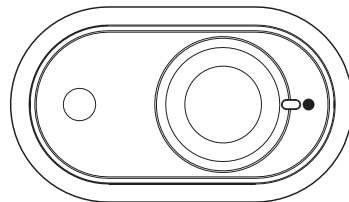
Interior lighting

The interior of the appliance is lit when the door is opened.

Refrigerator compartment

For storing fresh foods.

Thermostat



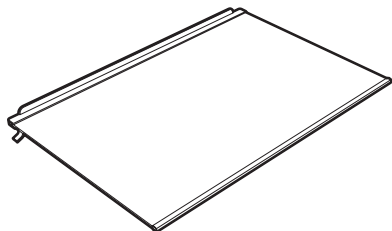
For setting the temperature inside the refrigerator and freezer compartments.



Description

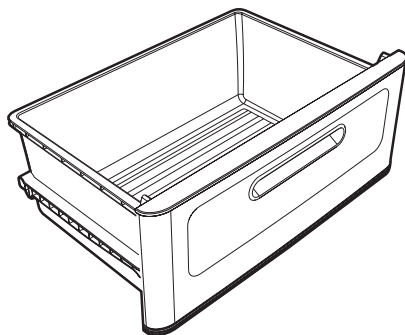
2.3 Available accessories

Shelves



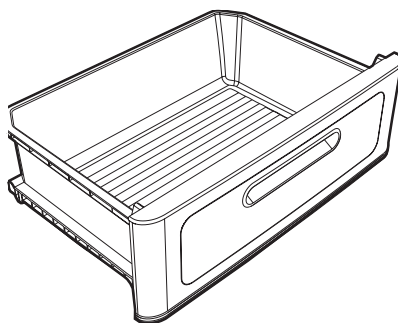
For optimising fridge space and placing foodstuffs inside the refrigerator compartment.

Fruit and vegetable drawer



For storing fruit and vegetables, maintaining a constant humidity level.

Supercold drawer



Can be used for maintaining freshness and flavour of delicate food such as meat, fish and lightly frozen foods for a longer time period, since temperature is kept constantly between -2°C and $+3^{\circ}\text{C}$. It is most suitable for long-term storage of food that cannot be frozen.

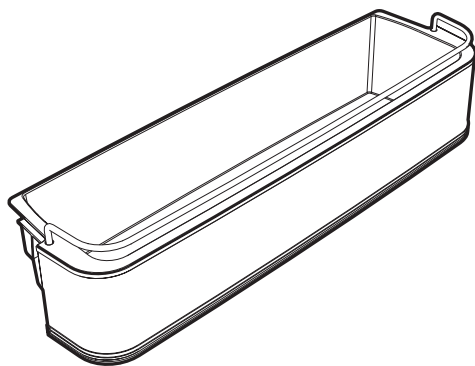


Do not place food to be frozen or trays to make ice in the super-cold compartment.



Door balconies and shelves

For storing foodstuffs in small containers.
The shelf in the lower part of the door is useful for storing bottles.



The accessories intended to come into contact with food are made of materials that comply with the provisions of current legislation.



Use

3 Use

3.1 Instructions



Improper use Risk of damage to the appliance

- Do not use sharp objects when removing ice and frost in order not to damage the appliance's walls.
- Do not sit or lean on the door or any open drawers.
- Do not touch the heating elements on the outside of the appliance.
- Do not store inflammable, explosive or volatile substances.
- Do not keep explosive substances, such as spray bottles with flammable propellants in the appliance.
- Organic compounds, acids and essential oils can corrode the seals and plastic surfaces if left in contact with them for extended periods.
- Bottles containing strong alcoholic drinks must be tightly closed and stored vertically.

3.2 Preliminary operations

1. Remove any protective film from the outside or inside of the appliance, including accessories.
2. Remove any labels (apart from the technical data plate) from the accessories and shelves.
3. Remove and wash all the appliance accessories (see 4 Cleaning CLEANING AND MAINTENANCE").

3.3 First use



After installing or repositioning the appliance, wait at least two hours before activating it.

Plug the appliance into a wall socket. To turn the appliance on, rotate the thermostat knob from position 1 to position 5, depending on the desired temperature.



The higher the number set (from 1 to 5), the lower the fridge temperature will be.

Alarm for door open

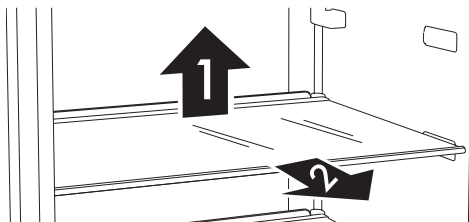
When the appliance door is left open for a long period of time, a sound and visual signal (flashing interior lights) will inform the user to close the door.

3.4 Using the accessories

Shelves

Each shelf has a safety fitting to prevent it from being accidentally removed.

To extract them fully, lift up the rear part (1) and remove them (2).

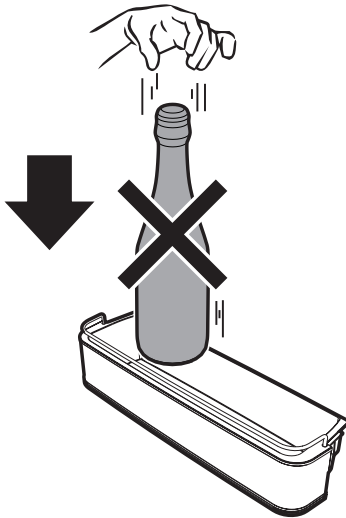




Perishable foods should be placed on the rear part of the shelves where the temperature is lower.

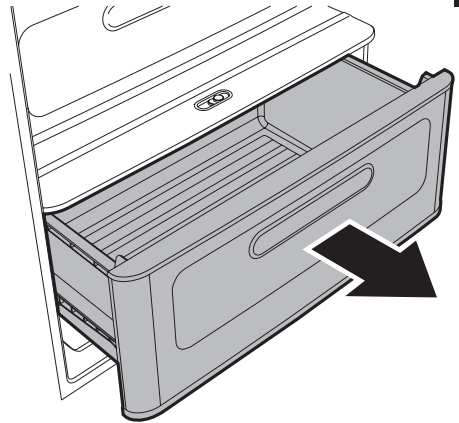
Door balconies and shelves

Suitable for storing eggs, butter, dairy products, glass jars and other small food packages/containers. The lower part of the door has a shelf for bottles. Avoid placing excessively heavy bottles on the shelf and do not let them drop onto the bottom when inserting them.



Fruit and vegetable drawer

Located at the bottom of the refrigerator compartment, which is fitted with a glass shelf to cover fresh foods that require constant humidity for optimum storage.

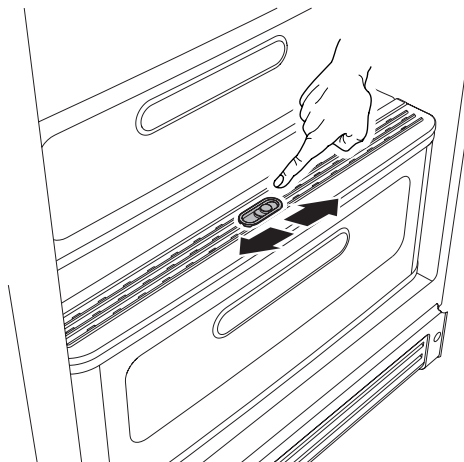


Storing vegetables with high content of water can generate condensation on the glass shelf. This is a natural phenomenon which does not affect the appliance's operation in any way.



Use

Drawer humidity regulator



Can be used to adjust the humidity level in the fruit and vegetable drawer. Slide the regulator horizontally to open or close the passage of air through the slots.



Storing vegetables with high content of water can generate condensation on the glass shelf.

This is a natural phenomenon which does not affect the appliance's operation in any way.

3.5 Ventilation



Before introducing food into the appliance, seal it thoroughly.

The air in the appliance is free of humidity and quickly dries the food inside.



The inner ventilation system cools food more rapidly and keeps refrigeration homogeneous inside the appliance.



3.6 Using the refrigerator compartment

Arranging food

Arrange food on the various shelves, making sure that they are wrapped and covered hermetically. This precaution ensures that:

- the flavour, moisture and freshness of the foods is preserved;
- any contamination of foods with odours or tastes from other foods can be avoided;
- avoid an excessive accumulation of moisture inside the compartment, due to the normal transpiration of food (especially fresh fruit and vegetables), which can occur under certain operating conditions.

in certain operating conditions Increased temperature, humidity in the room and increased frequency of door opening may cause condensation to form on the shelves.



Always allow hot foods and drinks to cool to room temperature before putting them in the appliance.

3.7 Using the freezer compartment

To keep and freeze foods properly:

- pack fruit and vegetables in portions of no more than 1 kg; meat and fish in portions of no more than 2 kg;
- small packages freeze quickly which means that the foods' nutritional properties are preserved better, including after defrosting/preparation;
- package foods in hermetically sealed packages, expelling air as much as possible;
- do not use paper bags or shopping bags, use the suitable freezer bags/containers.



Always allow hot foods and drinks to cool to room temperature before putting them in the appliance.

NE

Storage life table

Foodstuff	Time
Eggs, smoked meats, marinated foods, cheese	max 10 days
Root vegetables	max 8 days
Butter	max 7 days
Pastries, fruit, ready meals, fresh meat	max 2 days
Fish, minced meat, seafood	max 1 day



Frozen foods storage life table

Foodstuff	Time
Fruit, beef	max 10-12 months
vegetables, veal, poultry	max 8-10 months
Game	max 6-8 months
Pork	max 4-6 months
Mince	max 4 months
Bread, desserts, cooked foods, oily fish	max 3 months
Offal	max 2 months
Sausages, lean fish	max 1 month

Defrosted foods

Food must be consumed as soon as possible once defrosted. Freezing foods preserves them, but it does not destroy any micro-organisms, which are activated after defrosting, damaging the foods.

Partial defrosting lowers the nutritional value of the foodstuffs, particularly of fruit, vegetables and ready meals. Defrost them completely.

3.8 Noises during operation

The refrigerator and freezer compartments are cooled by means of a compression system. In order to maintain the preset temperature inside the refrigerator and freezer compartments, the compressor comes into operation in response to the level of cooling required, and may operate continuously if necessary.

When the compressor starts up a humming sound will be heard, tending to drop in volume after a few minutes.

Another normal operating noise of the appliance is a gurgling due to the coolant flowing through the pipes in the circuit.

This noise is normal and does not indicate an appliance malfunction.

If it becomes too loud, this may mean that there are other causes. Checks must then be made to ensure that:

- the refrigerator is properly levelled on the floor and does not vibrate when the compressor is in operation:
 - if this is not the case, adjust the feet supplied with the appliance;
- the drawers, shelves and trays on the door are correctly positioned in their holders:
 - if they are not, put them in correctly;
- bottles and containers on the various shelves are stable and not touching each other:
 - otherwise, the vibration resulting from the compressor's operation could cause a certain amount of noise;
- the refrigerator is not in contact with furniture or other household appliances:
 - always keep a minimum distance of 2 cm.

3.9 Heated front surface

There is a front surface heating system to limit the formation of condensation around the door seal.



3.10 Turning the appliance off

Should the appliance remain unused for a long period of time, it is advisable to switch it off, unplug it from the electrical socket, empty the compartments and after defrosting dry any residual moisture with a soft cloth.



Leave the door ajar to ensure that moisture and stagnant air do not cause unpleasant odours.

3.11 Food storage advice

Practical energy saving advice

- Correct use of the appliance, correct packaging of foodstuffs, a constant temperature and food hygiene have significant effects on the quality of storage.
- Reduce the number of times that the doors are opened and the length of time they remain open to prevent the compartments from heating up excessively.
- Clean the condenser at the rear of the appliance periodically to prevent the appliance from losing efficiency.
- Defrost frozen food in the refrigerator compartment in order to make use of the cold stored in the frozen foods.

General advice

- Always check the expiry date on the food packaging.
- The foodstuffs must be stored in closed or pre-packaged containers and must not be able to emit or absorb moisture and odours.
- Remove perishable products from the appliance if you are going away for a long period.

Refrigerator compartment door

- Keep eggs, butter, cheese etc. in the upper and central parts.
- Keep drinks, bottles, cans etc. in the lower part.



Refrigerator compartment

- Keep preserves in glass or tin jars, wine, biscuits etc. in the upper part.
- Keep dairy products, ready meals, pastries, fruit juices, beer etc. in the central part.
- Keep meats, cold cuts etc. in the lower part.
- Store fruit and vegetables in the fruit and vegetable drawer.

Freezer compartment

- The type of food, quantity and date of freezing should be marked on the container/packaging.
- Use small containers, if possible already cold.
- Use suitable freezer bags, tinfoil, cling-film for use with food, and freezer containers.
- Do not use paper bags, cellophane for non-food use, shopping bags or pre-used freezer bags.
- Avoid frozen food coming into contact with fresh food to be frozen.
- Keep bagged frozen vegetables, ice, ice cream etc.



4 Cleaning and maintenance

4.1 Instructions



Improper use Risk of damage to surfaces

- Do not use steam jets to clean the appliance.
- Do not use cleaning products containing chlorine, ammonia or bleach on parts made of steel or that have metallic surface finishes (e.g. anodizing, nickel- or chromium-plating).
- Do not use abrasive or corrosive detergents (e.g. scouring powders, stain removers and metallic sponges) on glass parts.
- Do not use rough or abrasive materials or sharp metal scrapers.



Power voltage Danger of electrocution

- Turn off the appliance and unplug it from the mains before cleaning or maintenance
- Do not pull the cable to unplug the appliance.

4.2 Cleaning the appliance

A special antibacterial protection on the appliance's interior walls prevents bacterial growth and keeps them clean. They must nevertheless be cleaned regularly in order to keep them in good condition.

NE

Cleaning the outside of the appliance

- The appliance may be cleaned with water or alcohol-based liquid detergents (e.g. window cleaning products).
- Avoid aggressive detergents and rough sponges in order not to damage the surfaces.
- Use a soft brush to remove dust and fume deposits from the condenser on the rear of the appliance.
- Clean the tank above the compressor.

Cleaning the inside of the appliance

- Clean the inside of the appliance with diluted liquid detergent and warm water, adding a little bit of vinegar.
- The door balconies and shelves can be removed: tap them upwards with your fist, first on one side and then on the other in the insertion zone.
- Remove any layers of ice. Do not use sharp objects or spray products.



Cleaning and maintenance

4.3 Defrosting



Occasional presence of frost inside the freezer compartment is normal.



Do not use electrical appliances (e.g. hair dryers) or sprays for defrosting, the plastic parts could be damaged.

Defrosting the refrigerator compartment

The refrigerator compartment does not require defrosting, as any ice which forms on the refrigeration plate will melt when the compressor is idle. The defrosting process is automatic.

Defrost water is channelled directly into the dedicated pan on the back of the appliance, which lets it evaporate by means of the heat generated by the compressor.

Defrosting the freezer compartment

- The freezer compartment needs to be defrosted manually. When the thickness of frost or ice exceeds 2 cm, the freezer should be defrosted.
- A few hours before defrosting, set the thermostat to the max. value in order to further lower the temperature of the frozen foods.
- Unplug the appliance from the supply mains socket.
- Remove the frozen foods from the freezer compartment and protect them from defrosting while cleaning.

4.4 Inside lighting

Interior lighting, if damaged, must be repaired by Technical Service only.

4.5 What to do if...

The appliance does not work:

- Make sure that the appliance is plugged in and that the main switch is turned on.
- The compressor starts to function too often or functions continuously:
- The room temperature is too high.
 - The door is being opened too often or for too long.
 - The door is not closing/sealing properly.
 - The freezer compartment is loaded with too many fresh foods.
 - Check that sufficient air can circulate around the sensor on the right-hand side of the refrigerator compartment.
 - Check that the back of the freezer compartment is properly ventilated and that the condenser is not too dirty.

Excessive ice or condensation has built up inside the refrigerator compartment:

- The door is being opened too often or for too long.
- Hot foods have been placed inside the refrigerator compartment.
- The foodstuffs or containers are in contact with the rear wall.
- The door seal is damaged or dirty. Clean or replace it.



The refrigerator compartment is not sufficiently cold:

- The thermostat is set at too high a temperature.
- The door is being opened too often or for too long.
- The door is not closing/sealing properly.
- The room temperature is too high.

The temperature inside the refrigerator compartment is too cold and the foodstuffs are freezing:

- The thermostat is set at too low a temperature.
- Food not contained in suitable containers or bags.
- Fruit and vegetables might be too wet.
- The foodstuffs or containers are in contact with the rear wall.

Temperature inside freezer compartment not low enough to freeze foods properly:

- The thermostat is set at too high a temperature.
- The door is being opened too often or for too long.
- The door is not closing/sealing properly.
- The door seal is damaged or dirty. Clean or replace it.
- The food to be frozen contains large quantities of sugar.

Excessive ice has built up inside the freezer compartment:

- The thermostat is set at too low a temperature.
- The room temperature is too high.
- The door is being opened too often or for too long. The door is not closing/sealing properly.
- The door seal is damaged or dirty. Clean or replace it.
- Hot foods have been placed inside the freezer compartment.

Doors are hard to open just after closing:

- If you attempt to open the door again just after closing it (especially the freezer door), considerable strength is required. This is due to the vacuum created by the cooling of the warm air which has entered the freezer.

The doors are misaligned:

- Check that the appliance is level.
- Level the appliance using its feet.



Installation

5 Installation

5.1 Electrical connection



Power voltage Danger of electrocution

- The appliance must be connected to ground in compliance with electrical system safety standards.
- Do not pull the cable to unplug the appliance.
- If no earth connection is available, contact your dealer or an electrician for a Model D earthing system.

General information

- Check the mains characteristics against the data indicated on the plate. The identification plate bearing the technical data, serial number and brand name is visibly positioned inside the appliance. Do not remove this plate for any reason.
- Make sure that the plug and socket are of the same type.
- Avoid using adapters, gang sockets or extensions as these could cause overheating and a risk of burns.
- Place the appliance close to the socket so that it can be easily disconnected.
- Leave the appliance standing vertically for at least two hours before turning it on for the first time.
- If it is necessary to replace the power cable, this must be performed by an authorised technician from Technical Support Service.

5.2 Positioning



Heavy appliance Crushing hazard

- Position the appliance with the aid of a second person.



Pressure on the open door Risk of damage to the appliance

- Never use the open door to lever the appliance into place when fitting.
- Avoid exerting too much pressure on the door when open.
- The appliance must not be exposed to direct sunlight.
- The appliance must not be placed near sources of heat. If this is not possible, a suitable insulation panel must be used.
- Do not use the appliance outdoors.

Choice of location

Always install the appliance in a dry place with satisfactory ventilation. Depending on its climate class (stated on the nameplate inside the refrigerator compartment), the appliance can be used in different temperature conditions.

Class	Room temperature
SN (Subnormal)	from +10°C to +32°C
N (Normal)	from 16°C to +32°C
ST (Subtropical)	from 18°C to 38°C
T (Tropical)	from 18°C to 43°C

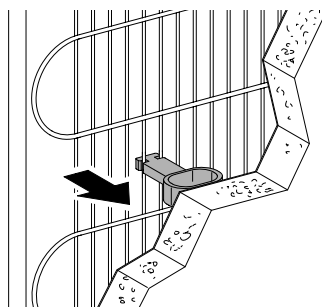
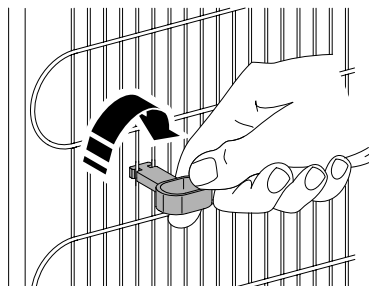
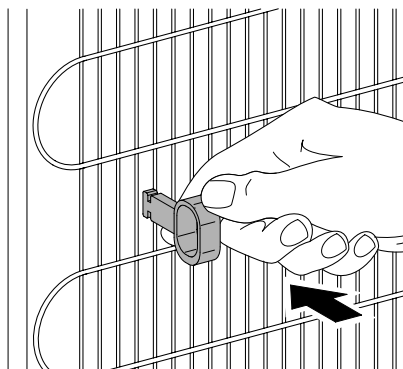


- Install the appliance at least 3 cm away from electrical or gas cookers and at least 30 cm away from combustion heaters or radiators.
- The appliance must not be placed near sources of heat. If this is not possible, a suitable insulation panel must be used.
- If installed underneath wall units, at least 5 cm clearance must be left.
- Ensure that the appliance is located with sufficient space for the door to open and for the internal drawers and shelves to be removed, if necessary.

Spacers

To ensure proper cooling of the condenser, the appliance must not be placed too close to the wall.

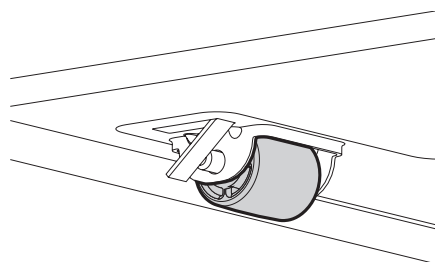
To prevent this, the appliance comes complete with two plastic spacers, which must be fitted in the rear part of the appliance.



Positioning

Position the appliance on a firm, level surface.

The appliance has two small wheels on the back to allow it to be moved and positioned more easily.

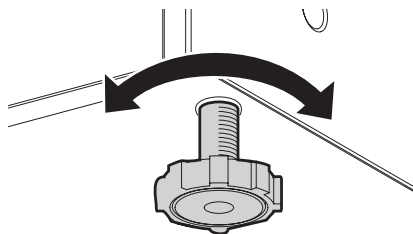


In any case, we recommend moving the appliance very carefully in order to avoid damaging the floor (especially in the case of wooden floors).



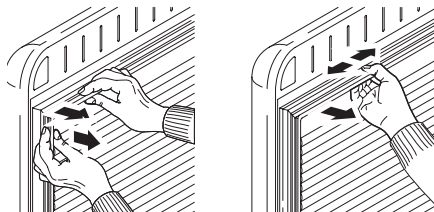
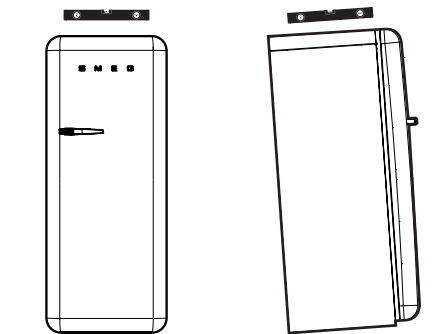
Installation

If the floor is not perfectly level, use the two adjustable feet on the front part of the appliance



Level the appliance horizontally adjusting its feet.

Lean the appliance slightly towards the rear part to facilitate proper door closure.



**Pressure on the seal
Risk of damage to the
appliance**

- Do not press, do not tear or detach the seal from the door.

A few days after installation, check that the initial level adjustment is still correct. Make sure that the appliance is still stable and the door seals still close hermetically when it is in operation and loaded with food. If necessary, re-adjust the level and the seals.



In order for the freezer to be installed correctly, the door must be able to close properly. Ensure that the door seals close hermetically, especially at the corners.

1 Avertissements	70
1.1 Comment lire le manuel d'utilisation	70
1.2 Ce manuel d'utilisation	70
1.3 Fonction de l'appareil	70
1.4 Avertissements généraux pour la sécurité	71
1.5 Responsabilité du fabricant	73
1.6 Plaque d'identification	73
1.7 Élimination	74
2 Description	75
2.1 Description générale	75
2.2 Définition des éléments	75
2.3 Accessoires disponibles	76
3 Utilisation	78
3.1 Avertissements	78
3.2 Opérations préliminaires	78
3.3 Première utilisation	78
3.4 Utilisation des accessoires	78
3.5 Ventilation	80
3.6 Utilisation du compartiment réfrigérateur	81
3.8 Bruits de fonctionnement	82
3.9 Surface avant chaude	83
3.10 Extinction	83
3.11 Conseils de conservation	83
4 Nettoyage et entretien	85
4.1 Avertissements	85
4.2 Nettoyage de l'appareil	85
4.3 Dégivrage	86
4.4 Éclairage interne	86
4.5 Que faire si...	86
5 Installation	88
5.1 Branchement électrique	88
5.2 Positionnement	88

Nous conseillons de lire attentivement ce manuel qui contient toutes les indications nécessaires pour l'utilisation correcte et l'élimination correcte de l'appareil acheté.

Pour toute information complémentaire concernant le produit : www.smeg.com



Avertissements

1 Avertissements

1.1 Comment lire le manuel d'utilisation

Ce manuel d'utilisation utilise les conventions de lecture suivantes :

Avertissements



Informations générales pour la sécurité et pour l'élimination finale.



Description

Description de l'appareil et de ses accessoires.



Utilisation

Informations sur l'utilisation de l'appareil et des accessoires.



Nettoyage et entretien

Informations pour un nettoyage et un entretien corrects de l'appareil.



Installation

Informations pour le technicien qualifié concernant l'installation, la mise en fonction et l'essai.



Information



Avertissement de sécurité



Suggestion

1.2 Ce manuel d'utilisation

Ce manuel d'utilisation fait partie intégrante de l'appareil. Conservez-le en parfait état et à portée de main de l'utilisateur pendant tout le cycle de vie de l'appareil.

1.3 Fonction de l'appareil

- Lire attentivement les avertissements contenus dans ce manuel d'utilisation.
- Utiliser cet appareil uniquement dans des environnements fermés.
- L'appareil n'est pas destiné à un usage professionnel et commercial.
- Cet appareil est destiné à la réfrigération et à la conservation d'aliments frais et surgelés en milieu domestique. Toute autre utilisation est impropre. Le présent appareil peut être utilisé dans des environnements tels que:
 - la cuisine destinée au personnel des magasins, bureaux et autres lieux de travail ;
 - Entreprises agricoles et structures réceptives annexes ;
 - Hôtels, motel bed and breakfast et autres lieux de type résidentiel ;
 - pour les services de restauration et des applications analogues non destinées à la vente au détail.
- Cet appareil n'est pas conçu pour fonctionner avec des temporisateurs externes ou des systèmes de commande à distance.
- S'assurer que les enfants ne jouent pas avec l'appareil. Conserver hors de la portée des enfants

AVERTISSEMENTS POUR ENFANTS ET PERSONNES AVEC HANDICAP

- Afin d'éviter tout risque de choc électrique, d'incendie ou d'autres accidents similaires, cet appareil peut être utilisé par des enfants de moins de 8 ans et par des personnes aux capacités physiques, sensorielles ou mentales réduites, ou sans expérience ou sans les connaissances nécessaires, à condition qu'ils soient supervisés par un adulte responsable ou après avoir reçu des instructions sur l'utilisation sûre de l'appareil et la compréhension des dangers inhérents à celui-ci.



1.4 Avertissements généraux pour la sécurité

Pour utiliser ce produit en toute sécurité, observer les précautions suivantes.

Dommages corporels

S'assurer de lire ce manuel d'instruction avant l'utilisation.

- En accord avec les réglementations actuelles, il est hautement déconseillé de permettre aux enfants de moins de 8 ans d'utiliser l'appareil.
- Gardez à l'écart les enfants de moins de 8 ans, s'ils ne sont pas surveillés en continu, et assurez-vous qu'ils ne jouent pas avec l'appareil.
- Du personnel qualifié doit effectuer l'installation et les interventions d'assistance dans le respect des normes en vigueur.
- Ne modifiez pas cet appareil.
- N'introduisez pas d'objets métalliques pointus (couverts ou ustensiles) dans les fentes.
- N'essayez jamais de réparer l'appareil sans l'intervention d'un technicien qualifié.
- Ne touchez pas (surtout avec les mains mouillées) et ne mettez pas directement en bouche les aliments congelés.
- Ne conservez pas de substances inflammables, explosives ou susceptibles de s'évaporer.
- Ne pas conserver dans l'appareil de produits explosifs tels que des aérosols inflammables.
- Les bouteilles contenant un pourcentage élevé d'alcool doivent être bien fermées et en position verticale.
- Si le câble d'alimentation électrique est abîmé, contactez immédiatement le service d'assistance technique qui se chargera de le remplacer, afin d'éviter tout risque.

Dommages subis par l'appareil

- Ne posez jamais d'objets métalliques pointus (couverts ou couvercles) sur l'appareil durant l'emploi.
- N'utilisez pas de détergents abrasifs ou corrosifs sur les parties en verre (ex. produits en poudre, alcool, solvants, détachants et éponges métalliques).
- Ne vous asseyez pas sur l'appareil.
- Ne faites pas levier sur la porte ou la poignée pour déplacer l'appareil.
- N'utilisez pas de jets de vapeur pour nettoyer l'appareil.
- N'utilisez jamais l'appareil pour rafraîchir la pièce.
- Débranchez l'appareil quand il est en panne, soumis à un entretien ou pendant son nettoyage.
- Ne conservez pas dans le congélateur de liquides en boîtes ou des récipients en verre.
- N'utilisez pas d'objets métalliques pointus pour éliminer la glace en excès dans le compartiment congélateur.
- Pour éviter l'instabilité de l'appareil, installez-le et fixez-le correctement, comme indiqué dans les instructions fournies dans le manuel présent.
- Ne posez pas d'objets lourds sur l'appareil.
- S'il est installé à proximité d'un autre réfrigérateur ou d'un congélateur, gardez une distance minimum de 2 cm.
- N'installez pas / n'utilisez pas l'appareil en plein air.



Avertissements

ATTENTION :

- Pendant l'installation de l'appareil électroménager, veiller à ce que le cordon d'alimentation ne soit pas coincé ou détérioré.

ATTENTION :

- Ne placez pas de prises multiples portables ni d'alimentations de puissance portables au dos de l'appareil électroménager.
- N'utilisez pas d'adaptateurs pour fiches.

Pour cet appareil

- Surveillez les enfants pour éviter qu'ils ne jouent avec l'appareil.
- Ne vous appuyez pas et ne vous asseyez pas sur la porte ouverte.
- Vérifiez qu'aucun objet ne reste coincé dans la porte du four.
- L'appareil contient une petite quantité d'isobutane (R600a), veillez à ne pas abîmer le circuit de réfrigération pendant son transport, son montage ou son nettoyage.
- Maintenir les ouvertures de ventilation dans l'espace entourant l'appareil ou dans la niche d'encastrement libres de toute obstruction.
- Ne pas utiliser de dispositifs électriques (tel que par exemple sèche-cheveux), chimiques (tels que par exemple des sprays) pour accélérer le processus de dégivrage.
- Ne pas endommager le circuit de réfrigération (s'il peut être accessible). En cas de détérioration du circuit de réfrigération, évitez d'utiliser des flammes nues et aérez correctement la pièce.
- Ne pas utiliser d'appareils électriques à l'intérieur des compartiments pour la conservation des aliments.
- N'utilisez pas l'appareil ou des parties de l'appareil d'une manière différente de celle qui est indiquée dans le manuel présent.



ATTENTION :

- Risque d'incendie / matériaux inflammables.



ATTENTION :

- Éviter l'ouverture prolongée de la porte.
- Nettoyez régulièrement les surfaces pouvant entrer au contact des aliments, ainsi que les systèmes de drainage accessibles.
- Conservez la viande crue et le poisson dans des boîtes appropriées dans le réfrigérateur, de manière à ce qu'ils n'entrent pas au contact d'autres aliments et qu'ils ne s'égouttent pas dessus.
- S'il reste vide pendant de longues périodes, éteignez l'appareil, décongelez-le, nettoyez-le, séchez-le et laissez-le avec la porte ouverte pour éviter que des moisissures ne se développent à l'intérieur.

1.5 Responsabilité du fabricant

Le fabricant décline toute responsabilité en cas de dommages subis par les personnes et les biens, causés par :

- l'utilisation de l'appareil différente de celle prévue ;
- le non-respect des prescriptions du manuel d'instructions ;
- l'altération même d'une seule partie de l'appareil ;
- l'utilisation de pièces détachées non d'origine ;
- non-respect des avertissements sur la sécurité.

1.6 Plaque d'identification

La plaque d'identification contient les données techniques, le numéro de série et le marquage. N'enlevez jamais la plaque d'identification.



Avertissements

1.7 Élimination



Cet appareil doit être éliminé séparément des autres déchets (directives 2002/95/CE, 2002/96/CE, 2003/108/CE).

- Cet appareil ne contient pas de substances dont la quantité est jugée dangereuse pour la santé et l'environnement, conformément aux directives européennes en vigueur.
- Confiez l'appareil destiné à la mise au rebut aux centres de collecte sélective des déchets électriques et électroniques, ou remettez-le au revendeur au moment de l'achat d'un appareil équivalent, à raison d'un contre un.
- En cas de remplacement de l'appareil, retirez la porte et laissez les clayettes en place, afin d'éviter que des enfants ne puissent rester bloqués à l'intérieur.



Tension électrique **Danger d'électrocution**

- Désactiver l'alimentation électrique générale et détacher le câble d'alimentation électrique de l'installation électrique.
- Confiez les matériaux de l'emballage aux centres de collecte sélective. L'élimination correcte et le recyclage des matériaux servent à protéger l'environnement.
- Des matériaux non polluants et recyclables sont utilisés pour l'emballage de l'appareil.



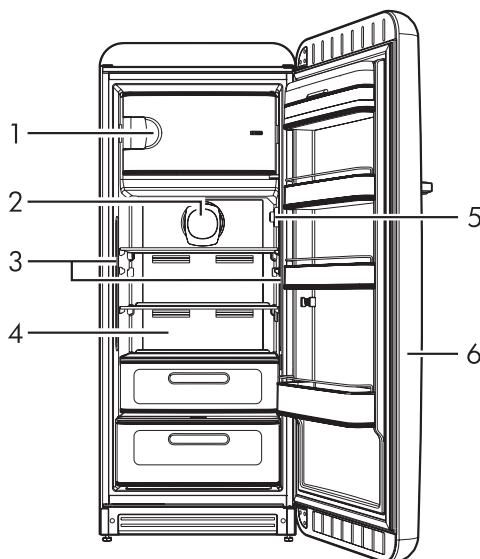
Emballage en plastique **Danger d'asphyxie**

- Ne laissez jamais sans surveillance l'emballage ni ses parties.
- Évitez que les enfants jouent avec les sachets en plastique de l'emballage.



2 Description

2.1 Description générale



1. Compartiment congélateur
2. Turbine
3. Éclairage interne
4. Compartiment réfrigérateur
5. Thermostat
6. Porte réfrigérateur

2.2 Définition des éléments

Compartiment congélateur

Utile pour la conservation d'aliments surgelés, pour la congélation des aliments frais et pour la production de glaçons.

Turbine

Utile pour la distribution de la température et pour réduire la condensation présente sur la surface d'appui.

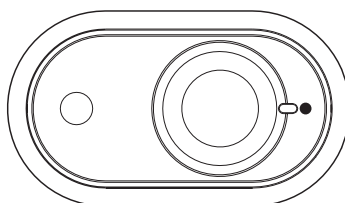
Éclairage interne

L'éclairage interne de l'appareil s'active à l'ouverture de la porte.

Compartiment réfrigérateur

Utile pour la conservation d'aliments frais.

Thermostat



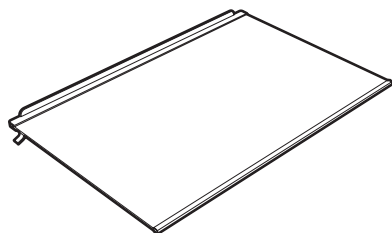
Utile pour sélectionner la température à l'intérieur du compartiment réfrigérateur et du compartiment congélateur.



Description

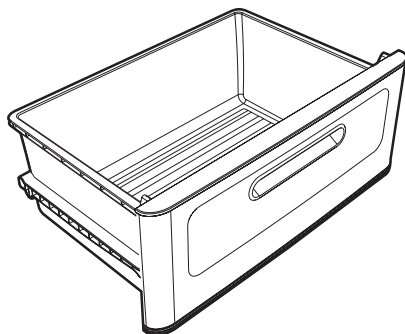
2.3 Accessoires disponibles

Clayettes



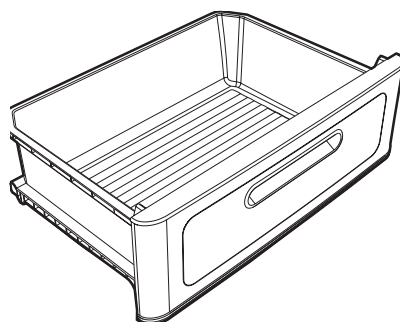
Utiles pour optimiser l'espace et ranger les aliments à l'intérieur du compartiment réfrigérateur.

Tiroir pour fruits et légumes



Utile pour la conservation des fruits et légumes, il assure un degré constant d'humidité à l'intérieur.

Tiroir super-froid



Il permet de conserver plus longtemps la fraîcheur et le goût des aliments délicats tels que la viande, le poisson et les aliments légèrement congelés, car il assure une température constante comprise entre -2°C et $+3^{\circ}\text{C}$. Il est plus adapté à la conservation à long terme de produits qui ne peuvent pas être congelés.

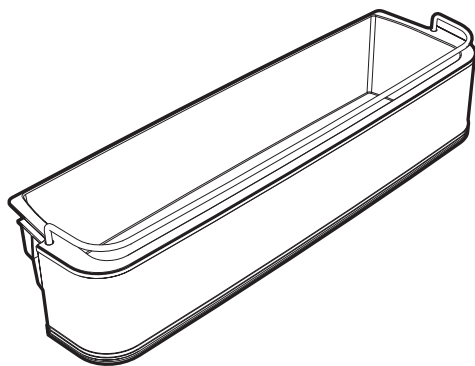


Ne pas placer des aliments à congeler ou des bacs à glaçons dans le compartiment super-froid.



Balconnets et récipients de la porte

Utiles pour y ranger des aliments emballés en petits paquets. Le récipient dans la partie inférieure de la porte est utile pour le rangement de bouteilles.



Les accessoires susceptibles d'entrer au contact des aliments sont fabriqués avec des matériaux conformes aux lois en vigueur.



3 Utilisation

3.1 Avertissements



Utilisation impropre Risque de dommages à l'appareil

- N'éliminez pas le givre ou la glace avec un objet coupant, pour éviter d'endommager irrémédiablement les parois de l'appareil.
- Ne vous appuyez pas et ne vous asseyez pas sur la porte ou sur les éventuels tiroirs ouverts.
- Ne touchez pas les éléments chauffants à l'extérieur de l'appareil.
- Ne conservez pas de substances inflammables, explosives ou susceptibles de s'évaporer.
- Ne pas conserver dans l'appareil de produits explosifs tels que des aérosols inflammables.
- Les substances organiques, acides et les huiles éthérées risquent de provoquer la corrosion des surfaces en plastique et des joints en cas de contact prolongé.
- Les bouteilles contenant un pourcentage élevé d'alcool doivent être bien fermées et en position verticale.

3.2 Opérations préliminaires

1. Éliminez les éventuelles pellicules de protection à l'extérieur et à l'intérieur de l'appareil et des accessoires.
2. Retirez les éventuelles étiquettes (à l'exception de la plaque contenant les données techniques) appliquées sur les accessoires et les clayettes.
3. Enlevez et lavez tous les accessoires de l'appareil (voir le chapitre 4 « Nettoyage et entretien »).

3.3 Première utilisation



Après l'installation ou un repositionnement éventuel de l'appareil, attendez au moins deux heures avant de le mettre sous tension.

Branchez la fiche sur la prise électrique. Pour mettre l'appareil sous tension, tournez la manette du thermostat de la position 1 à la position 5, selon la température souhaitée.



En augmentant des positions 1 à 5, la température diminue à l'intérieur du réfrigérateur.

Alarme porte ouverte

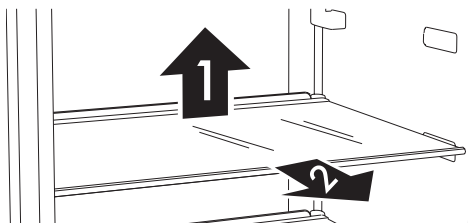
Lorsque la porte de l'appareil reste ouverte de façon prolongée, un signal sonore et visuel (voyants internes qui clignotent) signalera à l'utilisateur la nécessité de refermer la porte.

3.4 Utilisation des accessoires

Clayettes

Chaque clayette est munie d'une protection contre l'extraction accidentelle.

Pour les extraire complètement, soulevez-les par l'arrière (1) et sortez-les (2).



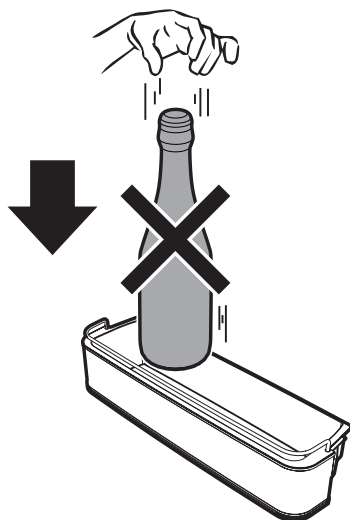


Les aliments facilement dégradables doivent être positionnés dans la partie arrière des clayettes où la température est inférieure.

Balconnets et récipients de la porte

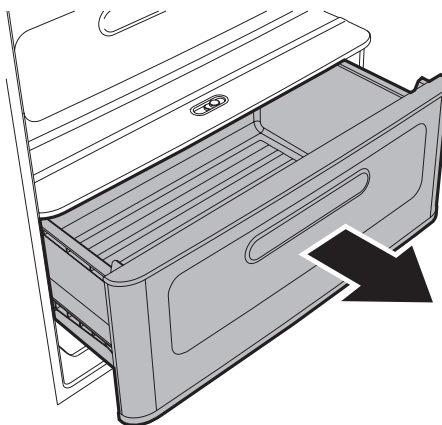
Ils sont utiles pour la conservation des œufs, du beurre, des produits laitiers, des pots en verre et d'autres petits paquets. Un récipient à bouteilles est positionné dans la partie inférieure de la porte.

Évitez de positionner dans le porte-bouteilles des bouteilles trop lourdes et de les laisser tomber au fond au moment du positionnement.



Tiroir pour fruits et légumes

Ce récipient est positionné dans la partie inférieure du compartiment réfrigérateur dans lequel on a prévu une clayette en verre pour la protection des aliments frais exigeant des conditions d'humidité constante pour une conservation correcte.



FR



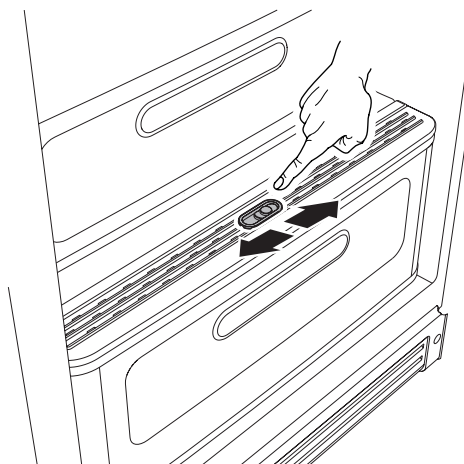
La conservation de légumes à forte teneur en eau peut provoquer la formation de condensation sur la clayette en verre.

Ce phénomène naturel ne nuit pas au fonctionnement correct de l'appareil.



Utilisation

Régulateur d'humidité tiroir



Utile pour régler l'humidité dans le tiroir à fruits et légumes. Faites glisser le régulateur à l'horizontale pour ouvrir ou fermer le passage de l'air à travers les fentes.



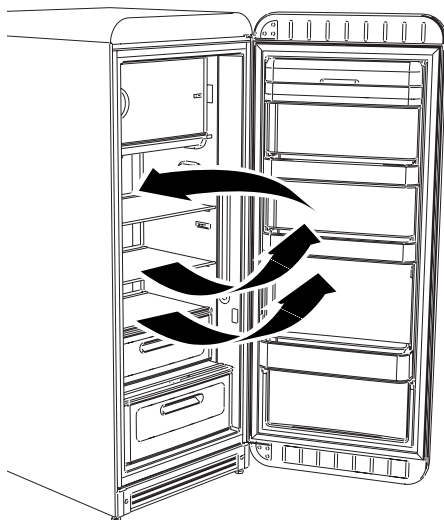
La conservation de légumes à forte teneur en eau peut provoquer la formation de condensation sur la clayette en verre. Ce phénomène naturel ne nuit pas au fonctionnement correct de l'appareil.

3.5 Ventilation



Avant d'introduire des aliments dans l'appareil, il est conseillé de les placer dans des emballages bien fermés.

L'air qui circule de manière forcée à l'intérieur de l'appareil n'est pas humide : elle sèche donc rapidement les aliments.



Le système de ventilation intérieure permet de refroidir plus rapidement les aliments. Il assure également une réfrigération homogène à l'intérieur de l'appareil.



3.6 Utilisation du compartiment réfrigérateur

Disposition des aliments

Disposez les aliments sur les différentes clayettes en veillant à les emballer et à les couvrir hermétiquement. Cette précaution permet de :

- préserver l'arôme, l'humidité et la fraîcheur des aliments ;
- éviter tout risque de contamination d'odeurs et de goût entre les aliments ;
- éviter une accumulation excessive d'humidité à l'intérieur du compartiment, du à la transpiration normale des aliments (en particulier de fruits et légumes frais).

Dans certaines conditions de fonctionnement, l'augmentation de la température, l'humidité de l'environnement et l'augmentation de la fréquence d'ouverture des portes, pourraient créer de la condensation sur les clayettes.



Laissez toujours refroidir les aliments et les boissons chaudes à température ambiante avant de les introduire à l'intérieur de l'appareil.

3.7 Utilisation du compartiment congélateur

Pour une conservation et une congélation correctes des aliments :

- emballez les fruits et les légumes en portions de maximum 1 kg ; la viande et le poisson en portions de 2 kg maximum ;
- les emballages réduits congèlent rapidement, permettant une meilleure conservation des propriétés nutritionnelles, même après la décongélation/préparation ;
- emballez les aliments dans des sachets hermétiques et expulsez le plus possible l'air présent à l'intérieur ;
- n'utilisez pas de sachets en papier ou de sacs pour les courses ; utilisez toujours les sachets/récipients spéciaux pour la congélation.



Laissez toujours refroidir les aliments et les boissons chaudes à température ambiante avant de les introduire à l'intérieur de l'appareil.

FR

Tableau des temps de conservation

Aliments	Temps
Œufs, viande fumée, aliments marinés, fromage	10 jours max.
Légumes avec des racines	8 jours max.
Beurre	7 jours max.
Petits fours, fruits, aliments prêts, viande fraîche	2 jours max.
Poisson, viande hachée, fruits de mer	1 jour max.



Tableau des temps de conservation des aliments congelés

Aliments	Temps
Fruits, bœuf	10-12 mois max.
Légumes, veau, volaille	8-10 mois max.
Gibier	6-8 mois max.
Porc	4-6 mois max.
Viande hachée	4 mois max.
Pain, gâteaux, aliments cuits, poisson gras	3 mois max.
Abats	2 mois max.
Saucisses, poisson maigre	1 mois max.

Aliments décongelés

Les aliments décongelés doivent être consommés dès que possible. Le froid conserve les aliments mais ne détruit pas les microorganismes qui s'activent après la décongélation endommagent les aliments. La décongélation partielle réduit la valeur nutritionnelle des aliments, en particulier des fruits et des légumes ainsi que des aliments cuisinés. Les décongeler complètement.

3.8 Bruits de fonctionnement

Le refroidissement du compartiment réfrigérateur et du compartiment congélateur est réalisé par un système à compression. Pour maintenir la température sélectionnée à l'intérieur des compartiments, le compresseur entre en fonction et, suivant le refroidissement souhaité, il peut, si nécessaire, fonctionner en continu.

Quand le compresseur entre en fonction, on entend un ronflement qui tend à diminuer au bout de quelques minutes. On entend un autre bruit lié au fonctionnement normal du réfrigérateur : un gargouillement dû au passage du liquide réfrigérant à l'intérieur des tubes du circuit.

Ce bruit est normal et n'est pas le signe d'un mauvais fonctionnement de l'appareil. Si ce bruit est trop fort, il peut être dû à d'autres causes. Il faut vérifier que :

- le réfrigérateur est correctement nivelé au sol et qu'il ne vibre pas lorsque le compresseur tourne :
 - réglez correctement les pieds fournis ;
- les tiroirs, les clayettes et les bacs dans la porte sont correctement placés dans les logements spécifiques :
 - remettez-les correctement en place ;
- les bouteilles et les récipients sur les différentes clayettes sont stables et qu'ils ne se touchent pas :
 - la vibration due au fonctionnement du compresseur pourrait être bruyante ;
- le réfrigérateur ne soit pas en contact avec des meubles ou d'autres électroménagers :
 - Toujours conserver une distance minimum de 2 cm.



3.9 Surface avant chaude

Le caisson contient un système de réchauffement de la surface antérieure qui permet de limiter la formation de condensation dans la zone de fermeture du joint de la porte.

3.10 Extinction

En cas de non-utilisation prolongée, il est conseillé d'éteindre l'appareil, de le débrancher de la prise électrique, de vider les compartiments et après le dégivrage, de sécher l'humidité résiduelle accumulée avec un chiffon doux.



Laissez les portes entrouvertes pour éviter que l'humidité et l'air stagnants ne génèrent de mauvaises odeurs.

3.11 Conseils de conservation

Conseils pratiques pour économiser l'énergie

- Une utilisation appropriée de l'appareil, un emballage adéquat des aliments, une température constante et une bonne hygiène des aliments influencent de façon déterminante la qualité de la conservation.
- Réduisez le temps et le nombre d'ouvertures des portes pour éviter un réchauffement excessif de l'intérieur des compartiments.
- Nettoyez régulièrement le condensateur situé à l'arrière du congélateur pour éviter que l'appareil ne perde en efficacité.
- Décongelez les surgelés dans le compartiment réfrigérateur de manière à récupérer le froid accumulé par les aliments congelés.

FR

Conseils généraux

- Contrôlez toujours la date limite de consommation figurant sur l'emballage.
- Les aliments doivent être conservés dans des récipients fermés ou correctement emballés et il ne doit s'en dégager ni odeurs ni humidité.
- Si vous devez vous absenter pendant une longue période, retirez les aliments facilement dégradables de l'appareil.

Porte du compartiment réfrigérateur

- Conservez les œufs, le beurre et le fromage, etc. dans la partie supérieure et centrale.
- Conservez les boissons, les boîtes, les bouteilles, etc. dans la partie inférieure et centrale.



Compartiment réfrigérateur

- Conservez les aliments conservés dans des pots en verre ou en aluminium, le vin et les biscuits, etc. dans la partie supérieure.
- Conservez les produits laitiers, les plats cuisinés, la pâtisserie, les jus de fruit et la bière, etc. dans la partie centrale.
- Conservez les viandes et la charcuterie dans la partie inférieure.
- Dans le tiroir à fruits et légumes conserver les fruits et les légumes.

Compartiment congélateur

- Indiquez sur l'emballage les données concernant le type d'aliment, la quantité et la date de congélation.
- Utilisez de petits emballages et si possible froids.
- Utilisez des sachets pour la congélation, des feuilles d'aluminium, des pellicules en polyéthylène à usage alimentaire et des récipients de congélation.
- N'utilisez pas de sachets en papier, de sachets en cellophane non indiqués pour l'usage alimentaire ni de sacs pour les courses ou pour la congélation ayant déjà été utilisés.
- Évitez que les aliments déjà congelés ne se trouvent au contact des aliments frais à congeler.
- Conservez les légumes emballés, les glaçons et les crèmes glacées, etc.



4 Nettoyage et entretien

4.1 Avertissements



Utilisation impropre Risque de dommages aux surfaces

- N'utilisez pas de jets de vapeur pour nettoyer l'appareil.
- N'utilisez pas de produits de nettoyage à base de chlore, d'ammoniaque ou d'eau de Javel sur les parties en acier ou traitées en surface et avec des finitions métalliques (par ex., anodisations, nickelages, chromages).
- N'utilisez pas de détergents abrasifs ou corrosifs sur les parties en verre (ex. produits en poudre, détachants et éponges métalliques).
- N'utilisez pas de matériaux rêches, abrasifs, ni de racloirs métalliques tranchants.



Tension électrique Danger d'électrocution

- Avant de procéder au nettoyage ou à l'entretien, mettez l'appareil hors tension et débranchez-le du réseau électrique.
- Ne tirez jamais le câble pour débrancher la fiche.

4.2 Nettoyage de l'appareil

Une protection anti-bactérienne particulière dans la partie supérieure des parois de l'appareil empêche la prolifération de bactéries et maintient sa propreté. Toutefois, pour une bonne conservation des surfaces, il faut les nettoyer régulièrement.

Nettoyage de la partie externe

- Nettoyez l'appareil avec de l'eau et un détergent liquide à base d'alcool (par ex., un produit à vitres, etc.).
- Évitez les détergents et les éponges agressives pour ne pas endommager les surfaces.
- Avec une brosse souple, éliminez la poussière et les dépôts de fumée du condenseur à l'arrière de l'appareil.
- Nettoyez le bac situé au-dessus du compresseur.

Nettoyage de la partie interne

- Nettoyez l'intérieur de l'appareil avec un détergent liquide dilué et de l'eau tiède contenant un peu de vinaigre.
- Les balconnets et les récipients des portes peuvent être extraits : frappez légèrement du poing de bas en haut d'abord d'un côté puis de l'autre dans la zone d'introduction.
- Éliminer les éventuelles couches de glace. N'utilisez pas d'objets pointus ou des solutions spray.



4.3 Dégivrage



La présence périodique de givre à l'intérieur du compartiment congélateur est un phénomène normal.



N'utilisez pas d'appareils électriques (comme un sèche-cheveux, etc.) ni un spray dégivrant qui risquent de déformer les pièces en plastique.

Dégivrage du compartiment réfrigérateur

Le compartiment réfrigérateur n'a pas besoin d'être dégivré car la glace se formant sur la plaque réfrigérante fond automatiquement durant l'arrêt du compresseur. Le processus de dégivrage est automatique.

L'eau de dégivrage est acheminée directement dans le bac situé à l'arrière de l'appareil. La chaleur produite par le compresseur provoque son évaporation.

Dégivrage du compartiment congélateur

- Le compartiment congélateur doit être dégivré manuellement. Lorsque l'épaisseur du givre ou de la glace est supérieure à 2 cm, il est recommandé de procéder au dégivrage.
- Quelques heures avant de procéder au dégivrage, réglez le thermostat sur la valeur maximale de manière à refroidir ultérieurement les aliments congelés.
- Puis débranchez la fiche d'alimentation électrique.
- Enlevez les produits surgelés du compartiment et protégez-les contre la décongélation au cours de la phase de nettoyage.

4.4 Éclairage interne

Si le système d'éclairage interne est endommagé, seul le Service d'assistance technique peut intervenir.

4.5 Que faire si...

L'appareil ne fonctionne pas :

- Contrôlez que l'appareil est branché et que l'interrupteur général est activé.
- Le compresseur démarre trop fréquemment ou fonctionne sans interruption :
- La température externe est trop élevée.
 - Ouverture trop fréquente ou prolongée de la porte.
 - La porte ne se ferme pas hermétiquement.
 - Présence excessive d'aliments frais dans le compartiment congélateur.
 - Vérifiez qu'il circule suffisamment d'air à proximité du capteur situé à droite du compartiment réfrigérateur.
 - Vérifiez que la partie arrière du compartiment congélateur est correctement aérée et que le condensateur n'est pas excessivement sale.

À l'intérieur du compartiment réfrigérateur se trouve une formation excessive de glace ou de condensation :

- Ouverture trop fréquente ou prolongée de la porte.
- Des aliments chauds ont été introduits à l'intérieur du compartiment réfrigérateur.
- Les aliments ou les récipients sont au contact de la paroi postérieure.
- Le joint de la porte est sale ou endommagé. Procédez à son nettoyage ou à son remplacement.



Refroidissement insuffisant du compartiment réfrigérateur :

- Le thermostat de réglage est placé sur une température trop élevée.
- Ouverture trop fréquente ou prolongée de la porte.
- La porte ne se ferme pas hermétiquement.
- La température externe est trop élevée.

Température à l'intérieur du compartiment réfrigérateur trop froide - congélation des aliments :

- Le thermostat de réglage est placé sur une température trop basse.
- Aliments non couverts avec des sachets et des récipients spécifiques.
- Fruits et légumes peuvent être excessivement mouillés.
- Les aliments ou les récipients sont au contact de la paroi postérieure.

La température à l'intérieur du compartiment congélateur ne permet pas une congélation correcte des aliments :

- Le thermostat de réglage est placé sur une température trop élevée.
- Ouverture trop fréquente ou prolongée de la porte.
- La porte ne se ferme pas hermétiquement.
- Le joint de la porte est sale ou endommagé. Procédez à son nettoyage ou à son remplacement.
- L'aliment à congeler contient trop de sucre.

À l'intérieur du compartiment congélateur se trouve une formation excessive de glace :

- Le thermostat de réglage est placé sur une température trop basse.
- La température externe est trop élevée.
- Ouverture trop fréquente ou prolongée de la porte. La porte ne se ferme pas hermétiquement.
- Le joint de la porte est sale ou endommagé. Procédez à son nettoyage ou à son remplacement.
- Des aliments chauds ont été introduits à l'intérieur du compartiment congélateur.

Difficulté d'ouverture des portes immédiatement après la fermeture :

- si l'on essaie de rouvrir une porte immédiatement après sa fermeture (en particulier, celle du congélateur), il faut exercer une force plus importante. Ce phénomène est dû à la dépression créée par le refroidissement de l'air chaud qui a pénétré dans le compartiment.

Les portes sont désalignées :

- Vérifiez le nivellement correct de l'appareil.
- Intervenez sur les pieds pour améliorer le nivellement.



Installation

5 Installation

5.1 Branchement électrique



Tension électrique
Danger d'électrocution

- La mise à la terre est obligatoire selon les modalités prévues par les normes de sécurité de l'installation électrique.
- Ne tirez jamais le câble pour débrancher la fiche.
- Si la mise à la terre n'est pas disponible, contactez votre revendeur ou un électricien pour un système de mise à la terre modèle D.

Informations générales

- Assurez-vous que les caractéristiques du réseau électrique sont appropriées aux données indiquées sur la plaque. La plaque d'identification, avec les données techniques, le numéro de série et le marquage, est placée dans une position bien visible sur l'appareil. N'enlevez jamais la plaque.
- Vérifiez que la fiche et la prise sont du même type.
- Évitez d'utiliser des réducteurs, des adaptateurs ou des shunts car ils pourraient provoquer des surchauffes et des brûlures.
- Placez l'appareil à proximité de la prise, de manière à pouvoir le débrancher facilement.
- Avant de mettre l'appareil sous tension pour la première fois, laissez-le au moins deux heures en position verticale.
- S'il est nécessaire de remplacer le cordon d'alimentation, cette opération doit être confiée uniquement à un technicien autorisé du Service d'assistance technique.

5.2 Positionnement



Appareil lourd
Danger de blessures par écrasement

- Positionnez l'appareil avec l'aide d'une autre personne.



Pression sur la porte ouverte
Risque de dommages à l'appareil

- N'utilisez pas la porte ouverte comme levier pour positionner l'appareil.
- N'exercez pas de pressions excessives sur la porte ouverte.
- L'appareil ne doit pas être exposé aux rayons du soleil.
- L'appareil ne doit pas être installé à proximité d'une source de chaleur. Si cela n'est pas possible, il faut utiliser un panneau isolant adapté.
- Ne positionnez pas l'appareil à l'extérieur.

Le choix du lieu

L'appareil doit toujours être placé dans un endroit sec suffisamment aéré. Suivant la classe climatique à laquelle il appartient (indiquée sur la plaque des caractéristiques appliquée à l'intérieur du compartiment réfrigérateur) l'appareil peut être utilisé dans différentes conditions de température.

Classe	Température ambiante
SN (Subnormal)	de + 10°C à + 32°C
N (Normal)	de + 16°C à + 32°C
ST (Subtropical)	de + 18°C à + 38°C
T (Tropical)	de + 18°C à + 43°C

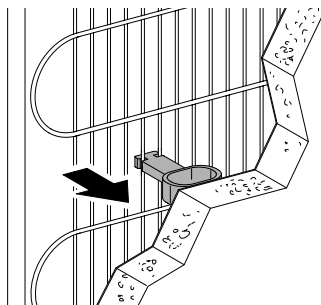
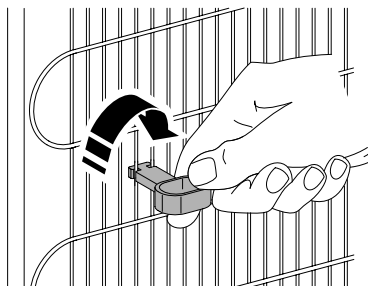
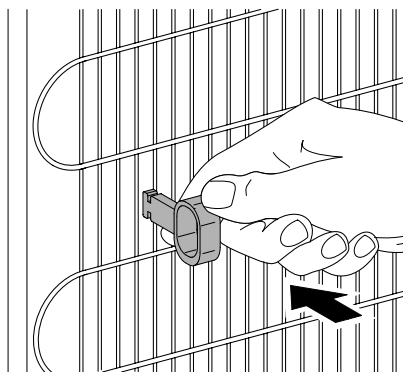


- Positionnez l'appareil à au moins 3 cm des cuisinières électriques ou à gaz, et à au moins 30 cm des systèmes de chauffage à combustion ou des radiateurs.
- L'appareil ne doit pas être installé à proximité d'une source de chaleur. Si cela n'est pas possible, il faut utiliser un panneau isolant adapté.
- Maintenez une distance de sécurité d'au moins 5 cm du meuble suspendu sous lequel il est installé.
- Assurez-vous que l'appareil est positionné dans un espace suffisamment grand pour pouvoir ouvrir la porte et extraire éventuellement les clayettes et les tiroirs.

Entretoises

Pour assurer un refroidissement correct du condensateur, l'appareil ne doit pas être positionné trop près du mur.

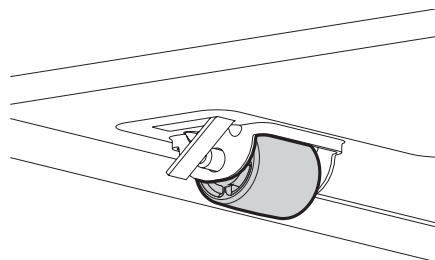
Pour éviter cela, le produit est muni de deux entretoises en plastique, à positionner sur la partie postérieure de l'appareil.



Mise en place

Positionnez l'appareil sur une surface stable et plane.

Deux roulettes positionnées à l'arrière de l'appareil facilitent la manutention et donc le positionnement.

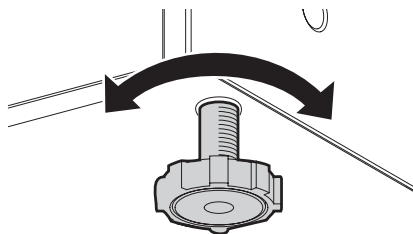


Toutefois, il est recommandé de faire très attention durant le déplacement afin que le coulisement n'endommage pas le sol (par exemple si le réfrigérateur est positionné sur du parquet).

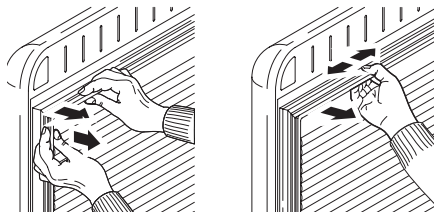
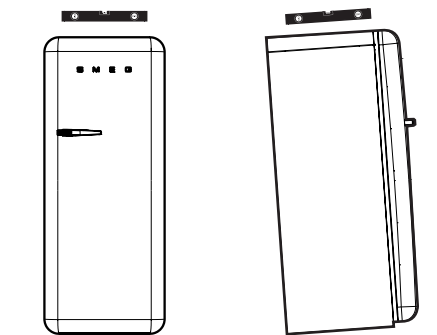


Installation

Pour compenser les irrégularités du sol, l'appareil est équipé de deux pieds réglables à l'avant.



Agissez sur les pieds pour niveler l'appareil horizontalement. Pour faciliter une fermeture correcte de la porte, inclinez légèrement l'appareil vers l'arrière.



**Pression sur le joint
Risque de dommages à
l'appareil**

- N'exercez aucune force sur le joint, ne le déchirez pas et ne le détachez pas de la porte.

Au bout de quelques jour, vérifiez que le nivellement initial a résisté. Lorsque l'appareil fonctionne et contient des aliments, vérifiez qu'il est toujours stable et que les joints de la porte se ferment hermétiquement. Si nécessaire, effectuez un nouveau nivellement et modelez de nouveau les joints.



Une installation correcte doit permettre la fermeture correcte de la porte. Vérifiez que les joints de la porte se ferment hermétiquement surtout au niveau des coins.

Inhaltsverzeichnis

1 Hinweise	92
1.1 Wie man dieses Bedienungshandbuch lesen muss	92
1.2 Dieses Bedienungshandbuch	92
1.3 Zweck des GerätesDie Warnhinweise in diesem Benutzerhandbuch sorgfältig durchlesen	92
1.4 Allgemeine Sicherheitshinweise	93
1.5 Haftung des Herstellers	95
1.6 Typenschild	95
1.7 Entsorgung	96
2 Beschreibung	97
2.1 Allgemeine Beschreibung	97
2.2 Beschreibung der Bauteile	97
2.3 Verfügbares Zubehör	98
3 Gebrauch	100
3.1 Hinweise	100
3.2 Vorbereitende Maßnahmen	100
3.3 Erster Gebrauch	100
3.4 Gebrauch der Zubehörteile	100
3.5 Lüftung	102
3.6 Gebrauch des Kühlfachs	103
3.8 Betriebsgeräusche	104
3.9 Warme Vorderseite	104
3.10 Ausschalten	105
3.11 Ratschläge für den Erhalt	105
4 Reinigung und Wartung	107
4.1 Hinweise	107
4.2 Reinigung des Gerätes	107
4.3 Abtauen	108
4.4 Innenbeleuchtung	108
4.5 Was machen, wenn...	108
5 Installation	110
5.1 Elektrischer Anschluss	110
5.2 Positionierung	110

DE

Wir empfehlen Ihnen, dieses Bedienungshandbuch sorgfältig durchzulesen. Hier finden Sie wichtige Hinweise, um die Ästhetik und Funktionalität Ihres Gerätes erhalten zu können.

Weitere Informationen zu den Produkten finden Sie auf der Internetseite www.smeg.com



1 Hinweise

1.1 Wie man dieses Bedienungshandbuch lesen muss

In diesem Bedienungshandbuch werden die folgenden Konventionen verwendet:

Hinweise



Allgemeine Informationen über Sicherheit und die Entsorgung.



Beschreibung

Beschreibung des Gerätes und der Zubehörteile.



Gebrauch

Informationen über den Gebrauch des Gerätes und der Zubehörteile.



Reinigung und Wartung

Anweisungen zur richtigen Reinigung und Wartung des Gerätes.



Installation

Informationen für den qualifizierten Techniker: Installation, Inbetriebsetzung und Abnahmeprüfung.



Information



Sicherheitshinweise



Empfehlung

1.2 Dieses Bedienungshandbuch

Das vorliegende Bedienungshandbuch ist ein fester Bestandteil des Gerätes und ist deshalb für die ganze Lebensdauer des Gerätes sorgfältig und in Reichweite aufzubewahren.

1.3 Zweck des Gerätes

Warnhinweise in diesem Benutzerhandbuch sorgfältig durchlesen.

- Dieses Gerät nur in Innenräumen verwenden.
- Das Gerät ist nicht für den professionellen und kommerziellen Einsatz bestimmt.
- Dieses Gerät ist für die Kühlung und die Aufbewahrung von frischen Lebensmitteln und Tiefkühlprodukten im Haushalt bestimmt. Jeder andere Gebrauch wird als zweckwidrig angesehen. Dieses Gerät kann z.B. auch in folgenden Umgebungen eingesetzt werden:
 - ▶ Küchenbereich für das Personal von Geschäften, Büros und anderen Arbeitsplätzen;
 - ▶ Bauernhöfen und angeschlossenen Beherbergungsbetrieben;
 - ▶ Hotels, Motels, Bed-and-Breakfasts und andere Wohnumgebungen;
 - ▶ Catering-Service und ähnliche, nicht für den Verkauf im Einzelhandel vorgesehene Verwendungen.
- Das Gerät ist nicht für den Betrieb mit externen Zeitschaltuhren oder mit Fernbedienungssystemen vorgesehen.
- Darauf achten, dass Kinder nicht mit dem Gerät spielen. Außerhalb der Reichweite von Kindern aufbewahren.

WARNUNGEN FÜR KINDER UND MENSCHEN MIT BEHINDERUNGEN

- Um die Gefahr eines elektrischen Schlags, eines Brandes oder ähnlicher Unfälle zu vermeiden, darf dieses Gerät von Kindern unter 8 Jahren und von Personen mit verringerten physischen, sensorischen oder mentalen Fähigkeiten oder Mangel an Erfahrung und Wissen benutzt werden, vorausgesetzt, dass sie von einem verantwortlichen Erwachsenen beaufsichtigt werden oder Anweisungen zum sicheren Gebrauch des Gerätes und zum Verständnis der damit verbundenen Gefahren erhalten haben.



1.4 Allgemeine Sicherheitshinweise

Um dieses Produkt sicher zu verwenden, sind folgende Vorsichtsmaßnahmen unbedingt zu beachten.

Personenschäden

Vor dem Gebrauch unbedingt diese Bedienungsanleitung durchlesen.

- Gemäß den geltenden Vorschriften sollte es vermieden werden, Kindern unter 8 Jahren die Benutzung des Geräts zu gestatten.
- Kinder im Alter von weniger als 8 Jahren dürfen sich aufsichtslos nicht in der Nähe des Geräts aufhalten und nicht damit spielen.
- Die Installation und die Wartungseingriffe müssen von qualifiziertem Fachpersonal und unter Berücksichtigung der geltenden Normen vorgenommen werden.
- Keine Veränderungen an diesem Gerät vornehmen.
- Keine spitzen Gegenstände aus Metall (Besteck oder Küchenhelfer) in die Öffnungen einführen.
- Niemals versuchen, das Gerät ohne den Eingriff eines qualifizierten Technikers zu reparieren.
- Berühren oder stecken Sie die tiefgefrorene Produkte nicht in den Mund (vor allem nicht mit nassen Händen).
- Keine leicht entzündbaren, explosiven oder verdampfbaren Substanzen aufbewahren.
- Im Gerät keine explosionsgefährdeten Substanzen, wie Spraydosen aufbewahren.
- Flaschen mit hohem Alkoholgehalt müssen fest verschlossen und senkrecht aufgestellt werden.
- Ist das Netzkabel beschädigt, muss unverzüglich der technische Kundendienst kontaktiert werden, der dasselbe austauschen wird, um jeglicher Gefahr vorzubeugen.

Schäden am Gerät

- Während des Betriebs keine spitzen Metallgegenstände wie Messer, Gabeln, Löffel oder Deckel auf dem Gerät ablegen.
- Keine scheuernden oder ätzenden Reinigungsmittel (z. B. Scheuerpulver, Alkohol, Lösungsmittel, Fleckenentferner oder Metallschwämme) für die Reinigung der Teile aus Glas verwenden.
- Es ist verboten, sich auf das Gerät zu setzen.
- Üben Sie keinen Druck auf die Tür oder den Griff aus, um das Gerät zu verstellen.
- Das Gerät nicht mit einem Dampfstrahl reinigen.
- Dieses Gerät darf nicht als Raumkühler benutzt werden.
- Das Gerät bei einer Störung, zur Wartung oder während der Reinigung immer vom Stromnetz trennen.
- Keine Flüssigkeiten in Getränkedosen oder Glasbehältern im Gefrierfach aufbewahren.
- Überschüssiges Eis nicht mit spitzen Metallgegenständen aus dem Gefrierfach kratzen.
- Bei der Installierung des Geräts, die Angaben in der Anleitung beachten und auf eine stabile Positionierung achten.
- Keine schweren Gegenstände auf das Gerät stellen.
- Wird das Gerät neben einem anderen Kühlschrank oder Gefrierschrank installiert, einen Mindestabstand von 2 cm berücksichtigen.
- Das Gerät nicht im Freien installieren/verwenden.

DE



ACHTUNG:

- Beim Aufstellen des Haushaltsgerätes immer sicherstellen, dass das Netzkabel nicht eingeklemmt ist und sich in einwandfreiem Zustand befindet.

ACHTUNG:

- Auf der Rückseite des Haushaltsgerätes keine mobilen Mehrfach-Steckdosen oder Netzteile unterbringen.
- Keine Adapter für Stecker benutzen.

Für dieses Gerät

- Kinder müssen beaufsichtigt werden, um sicherzustellen, dass sie nicht mit dem Gerät spielen.
- Man darf sich nicht an die offene Tür anlehnen oder sich darauf setzen.
- Sicherstellen, dass keine Gegenstände in der Tür stecken bleiben.
- Im Gerät ist eine geringe Menge von Isobutan (R600a) enthalten. Während des Transports, der Montage oder Reinigung darauf achten, dass der Kühlkreis nicht beschädigt wird.
- Die Belüftungsöffnungen im Bereich um das Gerät oder in der Einbaunische frei lassen.
- Keine elektrischen (z. B. Haartrockner) oder chemischen (z. B. Spray) Geräte benutzen, um den Abtauvorgang zu beschleunigen.
- Den Kühlkreis nicht beschädigen (falls er überhaupt zugänglich ist). Im Falle einer Beschädigung des Kühlkreises den Gebrauch offener Flammen vermeiden und den Raum ausreichend belüften.
- Keine elektrischen Geräte in den Lebensmittellagerfächern benutzen.
- Das Gerät oder Teile davon nur vorschriftsgemäß wie in diesem Handbuch vorgegeben benutzen.

**ACHTUNG:**

- Brandgefahr / entzündliche Materialien.

**ACHTUNG:**

- Ein längeres Offenstehen der Tür sollte vermieden werden.
- Die Oberflächen, die in Kontakt mit den Lebensmitteln kommen können, und die zugänglichen Ablaufsysteme regelmäßig reinigen.
- Rohes Fleisch und Fisch in geeigneten Behältern so im Kühlschrank lagern, dass sie nicht in Kontakt mit anderen Lebensmitteln kommen oder darauf tropfen können.
- Wenn das Gerät längere Zeit unbenutzt bleibt, muss es abgeschaltet, aufgetaut, gereinigt und getrocknet werden. Die Tür offen lassen, damit sich im Innern kein Schimmel bildet.

1.5 Haftung des Herstellers

Der Hersteller haftet nicht für Personen- und Sachschäden, die auf die folgenden Ursachen zurückzuführen sind:

- die zweckwidrige Verwendung des Gerätes;
- die Nichtbeachtung der Vorschriften dieses Bedienungshandbuchs;
- unbefugte Änderungen auch nur einzelner Gerätekomponenten;
- die Verwendung von Nichtoriginalersatzteilen;
- die Nichtbeachtung von Sicherheitshinweisen.

1.6 Typenschild

Das Typenschild enthält technische Daten sowie die Seriennummer und das Prüfzeichen. Das Typenschild auf keinen Fall entfernen.



1.7 Entsorgung



Dieses Gerät muss getrennt von anderen Abfällen entsorgt werden (Richtlinien 2002/95/EG, 2002/96/EG, 2003/108/EG).

- Dieses Gerät enthält, gemäß der gültigen europäischen Richtlinien, keine nennenswerte Menge an gesundheits- und umweltschädlichen Stoffen.
- Das Gerät bei geeigneten Sammelstellen für elektrische und elektronische Abfälle abgeben, oder es beim Kauf eines gleichwertigen Gerätes im Verhältnis eins zu eins an den Händler zurückgeben.
- Im Falle eines Ersatzes des Geräts, die Türe ausbauen und die Einlegeböden nicht entfernen, um zu vermeiden, dass Kinder eingesperrt bleiben.



Elektrische Spannung Stromschlaggefahr

- Die allgemeine Stromversorgung ausschalten und das Netzkabel von der elektrischen Anlage trennen.
- Die Verpackungsmaterialien bei geeigneten Sammelstellen abgeben. Ordnungsgemäße Entsorgung und Recycling von Materialien dienen dem Schutz der Umwelt.
- Die Verpackung unserer Produkte ist aus recyclingfähigem und umweltfreundlichem Material gefertigt.



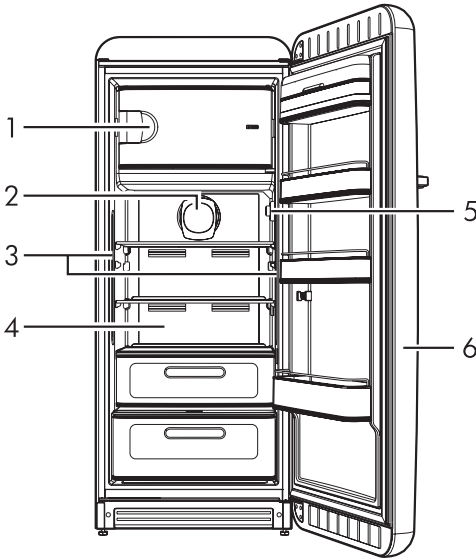
Verpackungen aus Plastik Erstickungsgefahr

- Die Verpackung oder Teile davon nicht unbeaufsichtigt lassen.
- Vermeiden, dass Kinder mit den Plastikbeuteln der Verpackung spielen.



2 Beschreibung

2.1 Allgemeine Beschreibung



1. Gefrierfach
2. Kühlgebläse
3. Backofenbeleuchtung
4. Kühlfach
5. Thermostat
6. Kühlschranktür

2.2 Beschreibung der Bauteile

Gefrierfach

Nützlich für die Aufbewahrung von tiefgefrorenen Lebensmitteln, das Einfrieren von frischen Lebensmitteln und die Eiswürfelbereitung.

Kühlgebläse

Dient der Temperaturverteilung und der Verminderung des Kondenswassers auf den Einlegeböden.

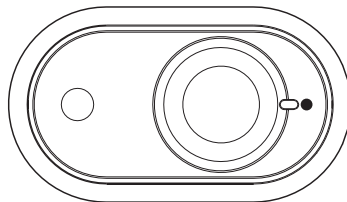
Backofenbeleuchtung

Die Innenbeleuchtung des Gerätes schaltet sich bei Öffnen der Tür ein.

Kühlfach

Nützlich für die Aufbewahrung von frischen Lebensmitteln.

Thermostat



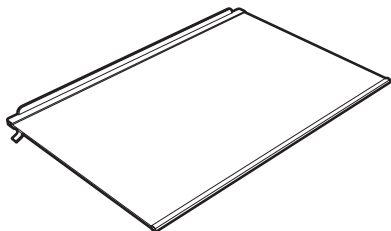
Nützlich für die Wahl der Temperaturen im Inneren des Kühl- und Gefrierfachs.



Beschreibung

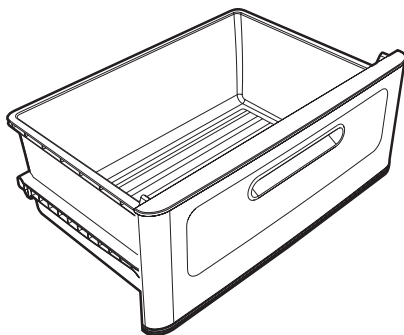
2.3 Verfügbares Zubehör

Einlegeböden



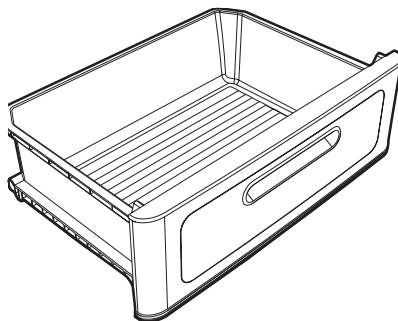
Nützlich für eine optimale Aufteilung des Platzes und für die Anordnung der Lebensmittel im Inneren des Kühlfachs.

Obst- und Gemüsefach



Nützlich für die Aufbewahrung von Obst und Gemüse, da es einen konstanten Feuchtigkeitsgrad im Inneren des Fachs garantiert.

Extra-Freezing-Schublade



In dieser Schublade bleiben Lebensmittel länger frisch. Empfindliche Lebensmittel wie Fleisch, Fisch und auf Eis gelegte Speisen bleiben in diesem Fach bei einer konstanten Temperatur zwischen -2°C und $+3^{\circ}\text{C}$ länger frisch. Sie ist am besten für die Langzeitlagerung von Produkten geeignet, die nicht eingefroren werden können.

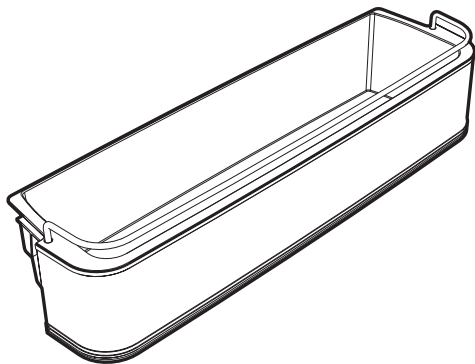


Das Extra-Freezing-Fach ist nicht für tiefgekühlte Speisen oder Eiswürfelschalen geeignet.



Stehablagen und Behälter in der Tür

Nützlich für die Ablage von kleinen Lebensmittelverpackungen. Der Behälter im unteren Bereich der Tür bietet sich für die Ablage von Flaschen an.



Das Serienzubehör, das mit den Lebensmitteln in Berührung kommen kann, ist aus Materialien gefertigt, die den einschlägigen gesetzlichen Bestimmungen entsprechen.



3 Gebrauch

3.1 Hinweise



Unsatzgemäßer Gebrauch Gefahr von Schäden am Gerät

- Den Reif oder das Eis nicht mit scharfen Gegenständen entfernen, um eine unwiderrufliche Beschädigung der Wände des Gerätes zu vermeiden.
- Man darf sich nicht an die offene Tür des Gerätes anlehnen oder sich auf sie oder auf eventuell offene Fächer setzen.
- Die Heizelemente im Inneren des Gerätes nicht berühren.
- Keine leicht entzündbaren, explosiven oder verdampfbaren Substanzen aufbewahren.
- Im Gerät keine explosionsgefährdeten Substanzen, wie Spraydosen mit entzündbaren Treibstoffen aufbewahren.
- Die organischen, säurehaltigen Stoffe sowie Öle können bei verlängertem Kontakt die Kunststoffoberflächen und Dichtungen korrodieren.
- Flaschen mit hohem Alkoholgehalt müssen fest verschlossen und senkrecht aufgestellt werden.

3.2 Vorbereitende Maßnahmen

1. Eventuelle Schutzfolien auf den Außenflächen oder im Inneren des Gerätes einschließlich des Zubehörs entfernen.
2. Eventuelle Etiketten (mit Ausnahme des Schildes mit den technischen Daten) von den Zubehörteilen oder Einlegeböden entfernen.
3. Alle Zubehörteile des Gerätes entfernen und waschen (siehe 4 REINIGUNG UND WARTUNG“).

3.3 Erster Gebrauch



Nach der Installation oder nach einer eventuellen Verstellung des Geräts, sollten vor der Einschaltung mindestens zwei Stunden verstrichen sein.

Den Netzstecker in die Steckdose einstecken. Zum Einschalten des Gerätes muss der Thermostatschalter, je nach gewünschter Temperatur, von 1 auf 5 gedreht werden.



Je höher die Positionen zwischen 1 und 5, desto niedriger ist die Temperatur im Inneren des Kühlschranks.

Alarm „Tür offen“

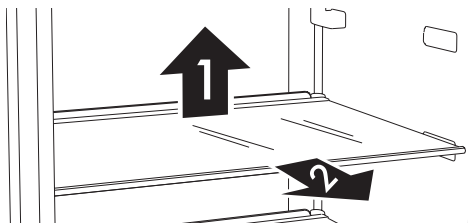
Wenn die Tür des Geräts über längere Zeit offen bleibt, wird der Benutzer über ein optisches (Intermittierende Beleuchtung des Geräteinnern) und akustisches Signal entsprechend aufgefordert, die Tür zu schließen.

3.4 Gebrauch der Zubehörteile

Einlegeböden

Jeder Einlegeboden ist mit einer Schutzvorrichtung für ein ungewolltes Herausrutschen versehen.

Zur vollständigen Herausnahme müssen sie hinten angehoben (1) und herausgezogen werden (2).





Leicht verderbliche Lebensmittel müssen im hinteren Bereich der Einlegeböden angeordnet werden, wo eine niedrigere Temperatur herrscht.

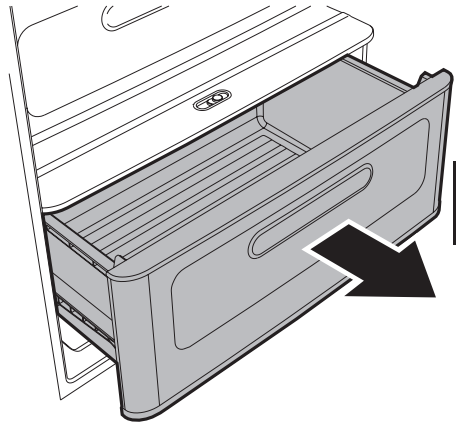
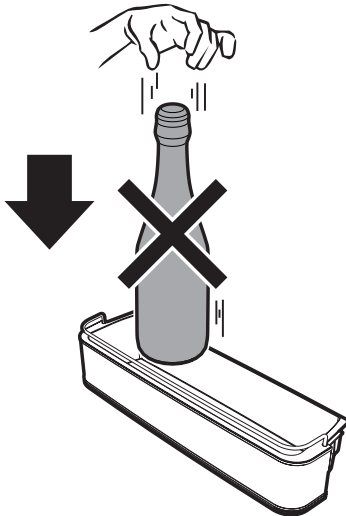
Obst- und Gemüsefach

Dieser Behälter befindet sich im unteren Teil des Kühlfachs, wo ein Glaseinlegeboden zur Abdeckung der frischen Lebensmittel, die einen konstanten Feuchtigkeitsgrad für eine angemessene Aufbewahrung benötigen, angeordnet ist.

Stehablagen und Behälter in der Tür

Nützlich für die Aufbewahrung von Eiern, Butter, Milchprodukten, Gläsern, und anderen kleinen Packungen. Im unteren Teil der Tür befindet sich das Flaschenfach.

Es sollte vermieden werden, zu schwere Flaschen in den Flaschenhalter zu stellen und sie beim Reinstellen hineinfallen zu lassen.



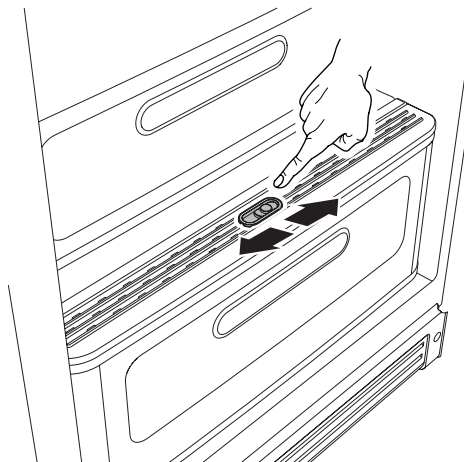
DE



Die Aufbewahrung von Gemüse mit hohem Wassergehalt kann auf dem Glaseinlegeboden zu Kondenswasserbildung führen. Es handelt sich um eine ganz normale Erscheinung und deutet nicht auf einen Fehlbetrieb des Geräts hin.



Feuchtigkeitsregler



Eignet sich für die Regelung der Feuchte im Obst- und Gemüsefach. Den Regler waagrecht verschieben, um den Luftstrom durch die Schlitzte zu ermöglichen oder zu sperren.



Die Aufbewahrung von Gemüse mit hohem Wassergehalt kann auf dem Glaseinlegeboden zu Kondenswasserbildung führen. Es handelt sich um eine ganz normale Erscheinung und deutet nicht auf einen Fehlbetrieb des Geräts hin.

3.5 Lüftung



Bevor die Speisen in das Fach gestellt werden, sollten sie gut abgedichtet werden.

Die im Gerät zirkulierende Luft enthält keine Feuchtigkeit und trocknet die ins Kühlfach eingeführten Lebensmittel schnell.



Das interne Belüftungssystem mit ermöglicht eine schneller Kühlung der Speisen und sorgt für eine homogene Kühlung im Schrank.



3.6 Gebrauch des Kühlfachs

Anordnung der Lebensmittel

Verteilen Sie die Lebensmittel auf die verschiedenen Einlegeböden, wobei darauf zu achten ist, dass Erstere hermetisch verpackt oder abgedeckt werden müssen. Dadurch ist es möglich:

- das Aroma, die Feuchtigkeit und die Frische der Speisen aufrecht zu erhalten;
- zu vermeiden, dass Gerüche und Geschmäcker von einem auf andere Lebensmittel übergehen.
- Eine übermäßige Ansammlung von Feuchtigkeit im Inneren des Fachs zu vermeiden, die durch die normale Transpiration von Lebensmitteln (insbesondere von frischem Obst und Gemüse) entsteht und unter bestimmten Betriebsbedingungen auftreten kann.

Bei erhöhter Temperatur, Luftfeuchtigkeit im Raum und häufigerem Öffnen der Tür kann sich Kondenswasser auf den Ablagen bilden.



Lassen Sie heiße Lebensmittel und Getränke immer auf Raumtemperatur abkühlen, bevor Sie sie in das Gerät einführen.

3.7 Gebrauch des Gefrierfachs

Beachten Sie für die richtige Konservierung und das richtige Einfrieren der Lebensmittel folgende Hinweise:

- Obst und Gemüse in Portionen von höchstens 1 kg sowie Fleisch und Fisch bis zu max. 2 kg;
- Kleinere Lebensmittelpackungen gefrieren schneller und ermöglichen dadurch eine bessere Beibehaltung der Nährwertigenschaften auch nach dem Auftauen und der Zubereitung;
- Lebensmittel in luftdicht abgeschlossenen Behältern verpacken und die Luft so gut wie möglich entweichen;
- Keine Papier- oder Einkaufstüten, sondern nur geeignete Gefrierbeutel und -behälter benutzen.



Lassen Sie heiße Lebensmittel und Getränke immer auf Raumtemperatur abkühlen, bevor Sie sie in das Gerät einführen.

Tabelle der Aufbewahrungsdauer

Lebensmittel	Zeit
Eier, geräuchertes Fleisch, marinierte Speisen, Käse	max. 10 Tage
Gemüse mit Wurzeln	max. 8 Tage
Butter	max. 7 Tage
Gebäck, Obst, Fertiggerichte, Frischfleisch	max. 2 Tage
Fisch, Hackfleisch, Meeresfrüchte	max. 1 Tag



Tabelle der Aufbewahrungsdauer von gefrorenen Lebensmitteln

Lebensmittel	Zeit
Obst, Rindfleisch	max. 10-12 Monate
Gemüse, Kalbsfleisch, Geflügel	max. 8-10 Monate
Wildbret	max. 6-8 Monate
Schweinefleisch	max. 4-6 Monate
Hackfleisch	max. 4 Monat
Brot, Gebäck, gekochte Speisen, Fettfisch	max. 3 Monat
Innereien	max. 2 Monat
Würste, Magerfisch	max. 1 Monat

Aufgetaute Lebensmittel

Aufgetaute Lebensmittel müssen so bald als möglich verzehrt werden. Die Kälte macht die Lebensmittel zwar haltbar, zerstört jedoch nicht die Mikroorganismen, die sich nach dem Abtauen aktivieren und die Lebensmittel verderben.

Ein nur teilweise erfolgtes Abtauen vermindert die Nährwerte der Lebensmittel, insbesondere die von Obst und Gemüse und den Fertiggerichten. Vollständig abtauen lassen.

3.8 Betriebsgeräusche

Das Kühlen des Kühl- und Gefrierfachs erfolgt durch ein Drucksystem. Um die gewählte Temperatur im Inneren der Zelle aufrecht zu erhalten, schaltet sich der Verdichter ein und kann je nach der gewünschten Kühlung bei Bedarf im Dauerbetrieb arbeiten.

Wenn sich der Kompressor einschaltet, wird ein Brummen hervorgerufen, dessen Stärke nach einigen Minuten nachlässt.

Ein weiteres Geräusch, das mit dem normalen Betrieb des Geräts zusammenhängt, ist eine Art Gurgeln und ist durch den Durchfluss des Kühlmittels im Leitungskreis bedingt.

Dieses Geräusch ist normal und ist kein Anzeichen für Funktionsstörungen des Gerätes.

Sollte es sehr laut sein, können Ursachen anderer Art bestehen. Dann ist zu prüfen, ob:

- der Kühlschrank gut auf dem Fußboden nivelliert ist und während des Verdichterbetriebs nicht vibriert:
 - Nehmen Sie eine richtige Einstellung der beiliegenden Füße vor;
- Die Fächer, die Einlegeböden und die Behälter richtig in den entsprechenden Aufnahmen angeordnet sind:
 - Schieben Sie sie richtig ein;
- Die Flaschen und Behälter auf den verschiedenen Einlegeböden stabil liegen und sich nicht berühren:
 - Die Vibration auf Grund des Verdichterbetriebs kann zu einer gewissen Geräuscentwicklung führen;
- Der Kühlschrank nicht in Kontakt mit Möbeln oder anderen Haushaltsgeräten ist:
 - Immer einen Mindestabstand von 2 cm einhalten.

3.9 Warme Vorderseite

Es ist ein Heizsystem für die Oberfläche vorgesehen, das die Bildung von Kondenswasser im Schließbereich der Türdichtung begrenzt.



3.10 Ausschalten

Sollte das Gerät längere Zeit nicht benutzt werden, ist es ratsam, das Gerät auszuschalten, den Stecker aus der Steckdose zu ziehen, die Zellen zu entleeren und nach dem Abtauen eventuelle Restfeuchtigkeit mit einem weichen Tuch abzutrocknen.



Lassen Sie die Tür einen Spalt offen, um zu vermeiden, dass Feuchtigkeit und stehende Luft schlechte Gerüche hervorrufen.

3.11 Ratschläge für den Erhalt

Praktische Tipps zum Energiesparen

- Ein sachgemäßer Gebrauch des Gerätes, die richtige Verpackung der Lebensmittel, die konstante Temperatur und die Hygiene der Lebensmittel haben einen bedeutenden Einfluss auf die Qualität der Aufbewahrung.
- Reduzieren Sie die Dauer und die Häufigkeit des Türöffnens, um eine übermäßige Erwärmung der Fächer zu vermeiden.
- Reinigen Sie regelmäßig den Kondensator an der Rückseite des Kühlschranks, um eine bessere Effizienz des Gerätes zu gewährleisten;
- Lassen Sie die tiefgefrorenen Lebensmittel im Kühlfach abtauen, um die in ihnen angesammelte Kälte in diesem Fach nutzen zu können.

DE

Allgemeine Ratschläge

- Kontrollieren Sie immer das Haltbarkeitsdatum der Lebensmittel, das auf der Verpackung derselben steht.
- Die Lebensmittel müssen in verschlossenen oder entsprechend verpackten Behältern aufbewahrt werden und dürfen keine Gerüche und Feuchtigkeit abgeben oder aufnehmen.
- Bei längerer Abwesenheit nehmen Sie die leicht verderblichen Lebensmittel aus dem Kühlschrank heraus.

Kühlfachtür

- Das obere und mittlere Fach dient zur Aufbewahrung von Eiern, Butter, Käse...
- Das untere Fach dient zur Aufbewahrung von Getränken, Dosen, Flaschen...



Kühlfach

- Der obere Bereich dient zur Aufbewahrung von Glaskonserven, Wein, Keksen.
- Der mittlere Bereich dient zur Aufbewahrung von Milchprodukten, Fertiggerichten, Gebäck, Fruchtsäften, Bier...
- Der untere Bereich dient zur Aufbewahrung von Fleisch, Wurstwaren...
- Lagern Sie Obst und Gemüse in der Obst- und Gemüseschublade.

Gefrierfach

- Auf der Verpackung müssen die Angaben wie Lebensmittelart, Menge und Gefrierdatum vermerkt werden.
- Verwenden Sie kleine und, wenn möglich, schon kalte Verpackungen.
- Verwenden Sie zum Einfrieren nur die entsprechenden Beutel, Aluminium- oder Polyethylenfolie für Lebensmittel sowie entsprechende Behälter.
- Verwenden Sie keine Papier- oder Zellophanbeutel, die nicht lebensmittelecht sind, bzw. Einkaufstüten oder Gefrierbeutel, die bereits verwendet wurden.
- Vermeiden Sie den Kontakt zwischen schon tiefgefrorenen und frischen, noch einzufrierenden Lebensmitteln.
- Zur Aufbewahrung von verpacktem Gemüse, Eiswürfel, Speiseeis...



4 Reinigung und Wartung

4.1 Hinweise



Unsatzgemäßer Gebrauch Gefahr von Schäden an den Oberflächen

- Das Gerät nicht mit einem Dampfstrahl reinigen.
- Bei der Reinigung von Stahlteilen oder Metallflächen (z.B. eloxierte, mit Nickel behandelte oder verchromte Flächen) keine chlor-, ammoniak- oder bleichmittelhaltigen Produkte verwenden.
- Keine scheuernden oder ätzenden Reinigungsmittel für die Reinigung der Teile aus Glas verwenden (z.B. Scheuerpulver, Fleckenentferner oder Metallschwämme).
- Keine rauen oder scheuernden Materialien bzw. scharfkantigen Metallschaber verwenden.



Elektrische Spannung Stromschlaggefahr

- Vor der Reinigung oder Wartung das Gerät ausschalten und vom Stromnetz trennen.
- Den Stecker niemals durch Ziehen am Kabel vom Stromnetz trennen.

4.2 Reinigung des Gerätes

Ein besonderer antibakterieller Schutz im oberen Wandbereich vermeidet die Vermehrung von Bakterien und garantiert die Hygiene im Gerät. Für einen optimalen Erhalt der Oberflächen müssen diese regelmäßig gereinigt werden.

Reinigung der Außenflächen

- Das Gerät muss mit Wasser oder einem alkoholhaltigem Flüssigmittel gereinigt werden (z.B. Glasreiniger...).
- Aggressive Reinigungsmittel und Schwämme sollten vermieden werden, um die Oberflächen nicht zu beschädigen.
- Den Kondensator an der Rückseite des Gerätes mit einer weichen Bürste von Staubresten und Rauchablagerungen befreien.
- Die auf dem Kondensator angeordnete Schale reinigen.

DE

Reinigung der Innenflächen

- Die Innenflächen des Gerätes mit einem verdünnten Flüssigmittel und lauwarmem Wasser mit etwas Essig reinigen.
- Die Fächer und Behälter der Türen können herausgenommen werden: zur deren Abnahme klopfen Sie leicht, erst auf einer und dann auf der anderen Seite, unterhalb der Einhakvorrichtung von unten nach oben.
- Entfernen Sie eventuelle Eisschichten. Non utilizzare oggetti appuntiti o soluzioni spray.



4.3 Abtauen



Das Vorkommen von Reif im Inneren des Gefrierfachs ist normal.



Verwenden Sie keine elektrischen Geräte (z.B. Haartrockner...) oder Sprays für das Abtauen, da diese die Kunststoffteile verformen können.

Abtauen des Kühlschranks

Das Kühlfach bedarf keines Abtauvorgangs, da das auf der Kühlplatte gebildete Eis beim Stillstand des Kompressor automatisch schmilzt. Der Tauprozess erfolgt automatisch. Das Tauwasser wird direkt in das entsprechende Becken im hinteren Teil des Geräts geleitet, wo es durch die vom Kompressor erzeugte Wärme verdampft.

Abtauen des Gefrierfachs

- Das Gefrierfach muss manuell abgetaut werden. Wenn die Dicke der Eis- oder Reifschicht auf den Einlegeböden mehr als 2 cm erreicht, ist eine Abtauung empfehlenswert.
- Stellen Sie einige Stunden vor dem Abtauen den Thermostat auf die max. Stufe ein, um die gefrorenen Lebensmittel stärker zu kühlen.
- Danach den Stecker aus der Steckdose ziehen.
- Entnehmen Sie alle tiefgefrorenen Produkte aus den Fächern und schützen Sie sie während der Reinigung vor dem Abtauen.

4.4 Innenbeleuchtung

Das interne Beleuchtungssystem darf im Falle von Schäden ausschließlich vom technischen Kundendienst repariert werden.

4.5 Was machen, wenn...

Das Gerät nicht funktioniert:

- Sicherstellen, dass das Gerät angeschlossen und der Hauptschalter eingeschaltet ist.

Der Kompressor schaltet zu häufig ein oder arbeitet im Dauerbetrieb:

- Die Umgebungstemperatur ist zu hoch.
- Die Tür wird zu häufig oder zu lange geöffnet.
- Die Tür schließt nicht hermetisch.
- Es wurde eine zu große Menge an frischen Speisen in das Gefrierfach eingeführt im Gefrierfach.
- Sicherstellen, dass in der Nähe des Fühlers an der rechten Seite des Kühlfachs ausreichend Luft zirkuliert.
- Sicherstellen, dass der hintere Bereich des Gefrierfachs ausreichend belüftet wird und dass der Kondensator nicht zu verschmutzt ist.

Im Inneren des Kühlfachs hat sich zu viel Eis oder Kondenswasser gebildet:

- Die Tür wird zu häufig oder zu lange geöffnet.
- Es wurden warme Speisen in das Kühlfach eingeführt.
- Die Lebensmittel oder Behälter liegen an der Rückwand an.
- Die Türdichtung ist verschmutzt oder beschädigt. Die Dichtung reinigen oder austauschen.



Die Kühlung des Kühlfachs ist unzureichend:

- Der Thermostat ist auf eine zu hohe Temperatur eingestellt.
- Die Tür wird zu häufig oder zu lange geöffnet.
- Die Tür schließt nicht hermetisch.
- Die Umgebungstemperatur ist zu hoch.

Die Temperatur im Kühlfach ist zu niedrig und gefriert die Lebensmittel:

- Der Thermostat ist auf eine zu niedrige Temperatur eingestellt.
- Die Lebensmittel wurden nicht in einem entsprechenden Behälter oder Beutel verpackt.
- Obst und Gemüse könnten zu nass sein.
- Die Lebensmittel oder Behälter liegen an der Rückwand an.

Die Temperatur im Inneren des Gefrierfachs verhindert ein richtiges Gefrieren der Lebensmittel:

- Der Thermostat ist auf eine zu hohe Temperatur eingestellt.
- Die Tür wird zu häufig oder zu lange geöffnet.
- Die Tür schließt nicht hermetisch.
- Die Türdichtung ist verschmutzt oder beschädigt. Die Dichtung reinigen oder austauschen.
- Die einzufrierenden Lebensmittel weisen einen zu hohen Zuckeranteil auf.

Im Inneren des Gefrierfachs hat sich zu viel Eis gebildet:

- Der Thermostat ist auf eine zu niedrige Temperatur eingestellt.
- Die Umgebungstemperatur ist zu hoch.
- Die Tür wird zu häufig oder zu lange geöffnet. Die Tür schließt nicht hermetisch.
- Die Türdichtung ist verschmutzt oder beschädigt. Die Dichtung reinigen oder austauschen.
- Es wurden warme Speisen in das Gefrierfach eingeführt.

Schwierigkeiten die Türen gleich nach dem Schließen wieder zu öffnen:

- Wenn versucht wird, die Tür sofort nach ihrem Schließen wieder zu öffnen (insbesondere bei der Gefrierschranktür), muss viel Kraft aufgewendet werden. Dieses Phänomen wird durch den Unterdruck hervorgerufen, der entsteht, wenn Warmluft in die Zelle gelangt und abkühlt.

Die Türen sind nicht ausgerichtet:

- Die korrekte Nivellierung des Gerätes überprüfen.
- Auf die Füße einwirken, um die Nivellierung zu verbessern.



5 Installation

5.1 Elektrischer Anschluss



Elektrische Spannung Stromschlaggefahr

- Der Erdungsanschluss ist obligatorisch und ist unter Einhaltung der Sicherheitsnormen für elektrische Anlagen vorzunehmen.
- Den Stecker niemals durch Ziehen am Kabel vom Stromnetz trennen.
- Wenn kein Erdungsanschluss vorhanden ist, wenden Sie sich an Ihren Händler oder einen Elektriker für ein Erdungssystem des Modells D.

Allgemeine Informationen

- Sicherstellen, dass sich die Eigenschaften des Stromnetzes für die Daten auf dem Typenschild eignen. Das Typenschild mit den technischen Daten, der Seriennummer und dem Prüfzeichen befindet sich gut sichtbar im Gerät. Das Typenschild auf keinen Fall entfernen.
- Beim Anschluss sicherstellen, dass der Stecker und die Steckdose der gleichen Ausführung sind.
- Keine Reduzierstecker, Adapter oder Shunts verwenden, da diese zu Hitzeentwicklung oder Verbrennungen führen können.
- Stellen Sie das Gerät so in der Nähe der Steckdose auf, dass Sie es leicht ausstecken können.
- Lassen Sie den Kühlschrank vor dem ersten Einschalten mindestens zwei Stunden in senkrechter Position stehen.
- Der Austausch des Netzkabels darf ausschließlich von einem autorisierten Fachmann des technischen Kundendienstes vorgenommen werden.

5.2 Positionierung



Schweres Gerät Gefahr von Verletzungen durch Quetschung

- Das Gerät mithilfe von einer anderen Person einschieben.



Druck auf die offene Tür Gefahr von Schäden am Gerät

- Die offene Tür beim Einschieben nicht als Hubvorrichtung verwenden.
- Keinen übermäßigen Druck auf die offene Tür des Geräts ausüben.
- Das Gerät darf keinem direkten Sonnenlicht ausgesetzt werden.
- Das Gerät darf nicht neben Wärmequellen aufgestellt werden. Sollte dies nicht möglich sein, muss ein entsprechendes Isolierpaneel eingebaut werden.
- Das Gerät nicht in Außenbereichen aufstellen.

Standortwahl

Das Gerät muss in einem trockenen Raum mit ausreichendem Luftwechsel aufgestellt werden. Je nach der entsprechenden Klimaklasse (auf dem Typenschild im Inneren des Kühlfachs angegeben) kann das Gerät unter unterschiedlichen Temperaturverhältnissen verwendet werden:

Klasse	Raumtemperatur
SN (Subnormal)	von + 10°C bis + 32°C
N (Normal)	von + 16°C bis + 32°C
ST (Subtropikal)	von + 18°C bis + 38°C
T (Tropikal)	von + 18°C bis + 43°C

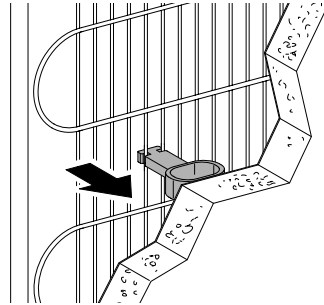
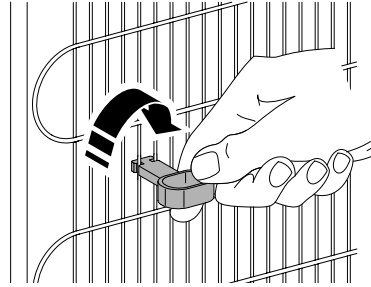
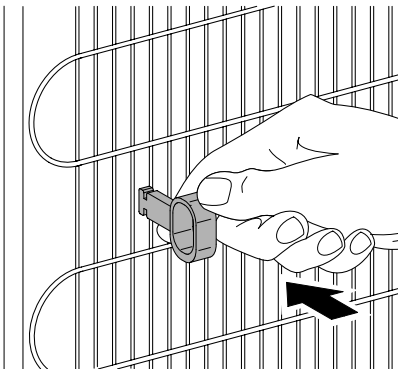


- Stellen Sie das Gerät mindestens 3 cm von Elektro- oder Gasherden sowie mindestens 30 cm von Heizsystemen mit Verbrennung oder Heizkörpern auf.
- Das Gerät darf nicht neben Wärmequellen aufgestellt werden. Sollte dies nicht möglich sein, muss ein entsprechendes Isolierpaneel eingebaut werden.
- Wenn das Gerät unterhalb von Hängeschränken aufgestellt wird, muss ein Abstand von mindestens 5 cm eingehalten werden.
- Sicherstellen, dass das Gerät dort aufgestellt wird, wo ausreichend Platz für das Öffnen der Tür und ein eventuelles Herausziehen der Einlegeböden oder Fächer gegeben ist.

Abstandhalter

Um die richtige Kühlung des Kondensators zu gewährleisten, darf das Gerät nicht zu nahe an der Wand stehen.

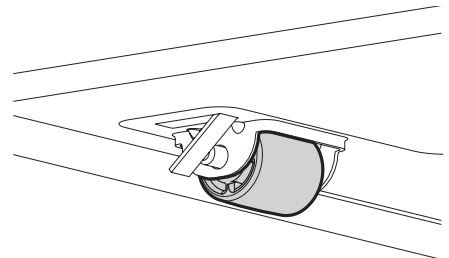
Um dies zu vermeiden, verfügt das Produkt über zwei Abstandhalter aus Kunststoff, die auf der Oberseite des Geräts anzubringen sind.



Aufstellung

Das Gerät auf einen stabilen und ebenen Untergrund stellen.

Am hinteren Teil sind zwei Räder angeordnet, die ein einfacheres Bewegen und somit eine korrekte Positionierung ermöglichen.

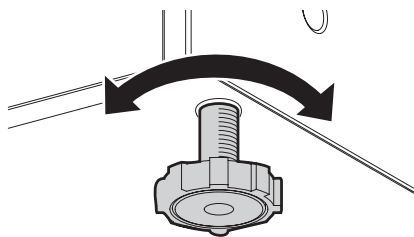


Jedoch wird geraten, beim Umstellen sehr vorsichtig vorzugehen, damit beim Verschieben der Fußboden nicht beschädigt wird (zum Beispiel, wenn der Kühlschrank auf Parkett aufgestellt wird).



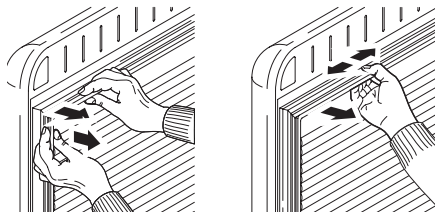
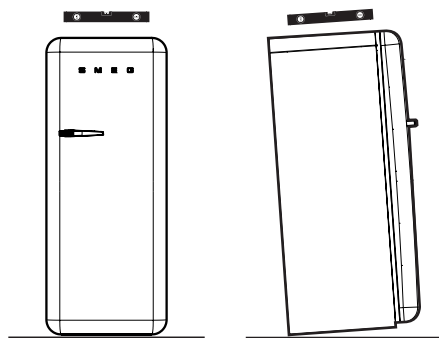
Installation

Um Unregelmäßigkeiten im Fußboden auszugleichen, ist das Gerät im vorderen Teil mit zwei Stellfüßen ausgestattet.



Die Stellfüße drehen, um das Gerät waagrecht zu nivellieren.

Um das richtige Schließen der Türen zu erleichtern, das Gerät leicht nach hinten geneigt aufstellen.



**Druck auf die Dichtung
Gefahr von Schäden am Gerät**

- Reißen oder lösen Sie die Dichtung nicht von der Tür ab, und üben Sie beim Umgang damit keine Kraft aus.

Prüfen Sie einige Tage nach der Installation, ob die anfängliche Nivellierung noch korrekt ist. Prüfen Sie, ob bei laufendem und mit Lebensmitteln gefülltem Gerät dieses noch stabil ist und die Türdichtungen hermetisch schließen. Nehmen Sie bei Bedarf eine neue Nivellierung vor und formen Sie nochmals die Dichtung.



Eine richtige Installation muss das vollständige Schließen der Tür ermöglichen. Prüfen Sie, dass alle Türdichtungen vor allem in den Ecken, hermetisch schließen.

メーカーは製品改良のため、予告なく変更する権利を有します。そのため、この取扱説明書に記載されている内容は参考資料であり、必ずしもその正確性を保証するものではありません。予めご了承ください。

Il costruttore si riserva di apportare senza preavviso tutte le modifiche che riterrà utili al miglioramento dei propri prodotti. Le illustrazioni e le descrizioni contenute in questo manuale non sono quindi impegnative ed hanno solo valore indicativo.

The manufacturer reserves the right to make any changes deemed useful for improvement of his products without prior notice. The illustrations and descriptions contained in this manual are therefore not binding and are merely indicative.

Le constructeur se réserve la faculté d'apporter, sans préavis, toutes les modifications qu'il jugera utiles pour l'amélioration de ses produits. Les illustrations et les descriptions figurant dans ce manuel ne sont pas contraignantes et n'ont qu'une valeur indicative.

Der Hersteller behält sich vor, ohne vorherige Benachrichtigung alle Änderungen vorzunehmen, die er zur Verbesserung seiner Produkte für nützlich erachtet. Die in diesem Handbuch enthaltenen Illustrationen und Beschreibungen sind daher unverbindlich und dienen nur zur Veranschaulichung.



914779707